一般社団法人茗渓会

茗渓

夏
2024
令和６年
no.1121

一般社団法人茗渓会 創基150年 さらなる躍進を！ 筑波大・文理大・東京高師同窓会

目次

■ グラビア …… 01 ～ 02
■ 令和６年度定時総会・出席代議員一覧 …… 03
■ 定時総会理事長挨拶 …… 04
■ 学長挨拶 …… 05
■ 令和５年度決算報告 …… 06
■ 令和６年度事業計画・予算書 …… 07
■ 定時総会議事（要旨）…… 08 ～ 09
■ 筑波大学一期会 …… 10 ～ 11
■ Peer Garden（茗渓アルバム）…… 12 ～ 14
■ 教職相談窓口（R6.4.1 ～ R7.3.31）…… 15
■「知の提供」誌上講座から出前講演へ …… 16 ～ 17
■ 元素講話こぼれ話　第５話 …… 18
■ 著書紹介 …… 19　■ 桐の葉のつどい …… 20
■ 東京茗渓会総会講演会・懇親会のご案内 …… 20
■ 筑波大学は今 …… 21　■ 茗渓学園だより …… 22
■ 追悼録 …… 23　■『創基百五十一年筑波大学五十年史』…… 24
■ 桐の葉のつどい …… 25　■ 春の叙勲受章おめでとうございます …… 25
■ 表紙のことば …… 25　■ 編集後記 …… 25

茨城県ひたち海浜公園のネモフィラの花（撮影：鈴木一弘）

安全に、快適に、正確に

OZONE 大曽根タクシー株式会社

代表取締役 塚本 一也

☆ＧＯアプリ配車
☆貸切バス事業者より
安全性評価認定(★★★)されました

〒300-3261 茨城県つくば市花畑 3 丁目 19-4

TEL 029−864−0301
FAX 029−864−4727
メールアドレス http://www.taxi.e-tsukuba.jp
フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

地域と歩み、次代を創る。

SEKISHO
SEKISHO GROUP

当社は「財団法人関彰育英会」を通して、筑波大学大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の支給を行っております。

関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正樹

つくば本社／茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

茗渓会担当：専務取締役 岡本 俊一
〈昭和56年 第一学群 社会学類 卒業〉

https://www.sekisho.co.jp/

KAIT

力と自信がつく教育で
「考え、行動する人材」を育成します。

■工学部	機械工学科 機械工学コース 機械工学科 航空宇宙学コース 電気電子情報工学科 応用化学科
■創造工学部	自動車システム開発工学科 ロボット･メカトロニクス学科 ホームエレクトロニクス開発学科
■応用バイオ科学部	応用バイオ科学科 応用バイオコース 応用バイオ科学科 生命科学コース
■情報学部	情報工学科 情報ネットワーク･コミュニケーション学科 情報メディア学科
■健康医療科学部	看護学科(看護師･保健師養成課程) 管理栄養学科(管理栄養士養成課程) 臨床工学科(臨床工学技士養成課程)

教職センター 大畑多津雄(S52 理)(神奈川茗渓会会 長)
ＩＲ室 望月 正大(S51 理)(同 副会長)
公務員対策室 林 忠(S58第1自)

神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:https://www.kait.jp/

令和５年度茗渓会賞
芸術部門優秀者

【誰何（主観）】

藤井　椋子さん
（芸術専門学群）

【誰何（場面）】　推薦者　田島　直樹先生

この度は拙作を高く評価いただいたことを心から光栄に、そしてありがたく思っております。もう耳新しくもありませんが、作品を作ることをしているとここ数年の技術・利便性の発展とともに、「人の仕事」の非効率性が意図されず強調されているように感じます。かつての最新技術であった版画は殊更です。そんな中で、苦悩や考えを形にした作品が評価されたことは大きな励ましになると思います。

【KANZOO】

猪瀬　陽さん
（芸術専門学群）

推薦者　内山　俊朗先生

この度は、歴史ある素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。子どものための知育玩具として制作した積み木「KANZOO」は、漢字から動物、動物から漢字へと、角度によって影の形が変化する仕組みを持っています。楽しいしかけと充実したラインナップにより、子どもたちに価値ある学び・遊びの体験を提供することを目指しました。

【TOOLS OF EATING　哺乳類の歯】

浜野　那緒さん
（芸術学学位プログラム）
推薦者　原　忠信先生

「TOOLS OF EATING 哺乳類の歯」は哺乳類の歯に注目することで、食べること・暮らすこと・生きることへの想像につなげることを目的とした展示。展示作品のひとつである、歯への興味喚起を目的とした「へんてこなフォークの歯」は哺乳類の歯を同じ食の道具であるフォークの歯で翻訳した。歯という小さな存在から、食べること、暮らすこと、生きることへの想像につなぐことを意図している。

【SPACE！　こそあどベンチャー】

内藤　恵介さん
（デザイン学学位プログラム）
推薦者　内山　俊朗先生

本作品は歩いて移動する人と画面越しに指示を出す人の２人１組で遊ぶ遠隔コミュニケーション MR ゲームです。移動する人は BEAMER が発射する肉眼では見えないビームに当たらないようにスタート地点からゴール地点を目指します。画面越しの人のみビームを視認出来るため、移動する人に移動方向を指示して協力して遊ぶ事ができます。

一般社団法人

茗渓会第13回定時総会

令和6年5月23日（木） 茗渓会館にて

定時総会出席代議員一覧

（敬称略）

筑波大	伊藤純郎
名誉教授の会	大嶋建一
北海道	川口　淳
岩手	高橋　縁
宮城	土生善弘
秋田	筒井　勝
山形	津田　浩
福島	伊豆幸男
茨城	秋本光徳
茨城	中澤　斉
茨城	髙村祐一
栃木	小島雄一
群馬	今井貴子
埼玉	細田幸一
埼玉	小林一郎
東京	柳　久美子
東京	浅井一郎
東京	栗原茂夫
東京	掛谷一夫
東京	飯島睦子
東京	海老沢敬子
東京	笹　のぶえ
東京	三橋浩志
東京	田中　修
神奈川	大石　進
神奈川	中野久美子
神奈川	石川裕子
神奈川	加藤充洋
神奈川	塚本　格
山梨	小林　智
長野	石川裕之
新潟	中島郁雄
富山	中村謙作
石川	居村吉記
静岡	石川　徹
静岡	鈴木康之
愛知	竹下裕隆
愛知	大森北寛
岐阜（代理）	増田智至
滋賀	樋口康之
三重	岡村芳成
京都	三橋利彦
大阪	戸井田克己
奈良	松田勝雅
和歌山（代理）	森　文哉
鳥取	小倉健一
島根	西村　覚
山口	開地元典
徳島	藤川美和
香川	土居真也
愛媛	川野光正
福岡	加藤茂文
佐賀	松雪　誉
大分	加藤寛章

一般社団法人 茗渓会
令和6年度 第13回 定時総会

挨拶

一般社団法人 茗渓会
理事長 井口武雄

明るく楽しい茗渓会

こんにちは。理事長の井口でございます。本日ここに全国から代議員の皆様にご出席をいただき一般社団法人茗渓会になりましてから第13回目の総会が開かれますことを大変うれしく思います。皆様にはお忙しい中お時間をお繰り合わせいただきまして有難うございます。

茗渓創基150年記念事業

3月に『茗渓創基150年記念誌～伝承と創造～』が発刊されました。これにより計画した全ての記念事業が完了しました。記念事業の掉尾を飾って下さいました真田編集委員長をはじめ関係者の皆様に感謝を致し、お礼を申し上げます。この記念誌は単に茗渓会の歴史と将来を繋ぐだけではなく明治以降の日本の教育の発展史とも言えるものと思っております。

２０１９年に始まりました記念事業は新型コロナ禍の影響を受けて延期になったものもありましたが一昨年の記念式典をピークにして順調に実施されました。先行事業の占春園再生、茗渓産業人倶楽部創設をはじめとする多くの記念事業の準備から実施まで心血を注いで下さったすべての方々のご尽力のお陰でございます。

これからの茗渓会の課題

茗渓会は8年後に創立150年を迎えます。我々にはこの長い歴史をもつ茗渓会が健全で活力が溢れ続けるようにする責任があります。その為には今ある様々の課題に取り組み後輩につけを残さないことが求められます。本日の総会ではその課題に真正面から取り組む方策のご審議をいただきたいと思います。

課題のうちの最大のものは財政の健全化であります。先輩の方々が苦労をして築いて下さった会館をはじめ土地の活用によって全体の財政は健全に成り立っておりますが肝心の会費会計は脆弱であります。その大きな要因は二つであります。一つは会費納入義務者のうち納入されている会員が極めて少ないことであります。令和4年度の納入率は5.8％にとどまっています。二つ目は新規加入者が著しく少なくなっていることであります。同じ令和4年度の新規加入者はわずか42人でありました。千人を超える卒業生が加入されたことを思うと淋しい限りであります。このような実態を踏まえて次の努力を続けてまいります。

茗渓会への会費の払い方が分からない等のお声を伺いますので、それらへの対応を致します。

また現在の新規加入対象者の大半は筑波大学の卒業生であります。従ってその卒業生が魅力を持てる茗渓会にしなければなりません。支出の見直しは勿論であります。

このような対策を確実に実行することに役員は全力を尽くしてまいります。しかしそれだけでは会費会計の健全化は十分果たせません。そこで会員全員のご尽力をいただかなければならないと考えております。

現在の3千5百円の年会費は１９８7年、今から30年以上前に決定されたものであります。本日は全ての議案について忌憚のないご意見をいただきご審議をお願い致します。会員の皆様、役員が同じ思いをもって明るく楽しいく語り合える茗渓会であり続けることに努めてまいりましょう。

令和6年度　茗渓会定時総会

学長挨拶

国立大学法人　筑波大学長
永田恭介

貴会から本学への日頃からの暖かいご支援に関し、深く感謝を申し上げます。貴会の令和6年度の定時総会に際して、ご挨拶を申し上げます。

本学は昨年、創基から151年、開学50周年を迎えました。記念式典をはじめとした多くのイベントを、ステークホルダーの皆様のご支援とご協力を得て、成功裏に開催することができました。今年度は次の50年（Next 50）に向けたスタートの年です。「未来構想大学」というコンセプトのもと、更なる飛躍に向け、歩みを進めてまいります。

本年3月には、在学生を代表する学生団体の主催で、コロナ禍で中止された２０２０年度入学生の入学式が挙行されました。卒業式のわずか2週間前でしたが、私も式に出席し4年越しに入学をお祝いしました。後輩たちを思い、コロナ禍で中断した学生活動の再開に取り組んだ先輩たちへ、在学生からの最高の恩返しが実現しました。学生同士の思いやりの心に接し、キャンパスの存在意義を再認識しました。コロナ禍で普及したオンライン授業は単なる知識の修得には便利ですが、創造性、責任感、共感力といった非認知能力の修得には向きません。多様な属性を持つ者が突っ込んだ議論を戦わせること、日々の何気ない会話を行うことも難しくなります。こうした営みの創成がキャンパスの存在意義の一つです。

本学はこれからも、学生が創造的な活動を行い、新しいひらめきにより優れた研究成果が生まれるキャンパスの発展に向け、不断の改革を進めてまいります。その一つが学士課程の教育改革です。教員と学生が学問的な課題を設定して議論を重ねる「チュートリアル教育」を段階的に開始します。これらの教育や社会との共創に対応できるよう学生宿舎をリニューアルし、学群の新入生が一度は宿舎での生活を経験するシステムを構築したいと考えています。宿舎エリアには、２０２２年に発行した大学債を活用して「未来社会デザイン棟」を建設し、学生が地域や企業、グローバル社会と日常的につながる場を創造します。

本年9月には、マレーシアに「学際サイエンス・デザイン専門学群」、いわゆる海外分校を開校します。日本の学位を海外で提供する初の取組であり、多くの大学から羨望の眼差しを集めています。日本の高等教育を海外展開する先駆者として、地球規模課題の解決を担う人材を育成していきます。

キャンパスは社会とのエンゲージメントを深める場でもあります。企業のニーズを起点とした開発研究を行うため、大学債を活用して２０２７年までに「IMAGINE THE FUTURE. Forum」（ITF.F）を建設します。この施設には、企業のR&D部門を誘致して開発研究を行うB2A（Business to Academia）研究所を設置し、ニーズドリブン型産学共同研究を進めていきます。

法人としてのガバナンス改革も進めています。自律した経営体への変革に向け、本年4月、事業・ファイナンス局を設立しました。財源の多様化と自己収入の拡大を一体的に推進していきます。局長（ＣＦＯ）には金融業界から新たに専門人材を招聘しました。同局は資産運用のみならず、寄附金収入の拡大やステークホルダーとのリレーション強化をミッションとしています。これを機会に、本学は貴会を含めた世界中の同窓生とのつながりを更に重視していきます。

最後に、嬉しい出来事をお伝えしたいと思います。先月、本学は米国・ワシントン大学との間で、ＡＩ分野におけるパートナーシップに合意しました。この枠組みは日米首脳共同声明「未来のためのグローバル・パートナー」において言及されています。未来社会を支えるＡＩ技術の先端研究と人材育成を通じ、日米協力の一翼を担えることを大変光栄に思います。

このパートナーシップでは、Amazon社とNVIDIA社から、10年間で併せて約75億円の支援をいただく予定となっています。今後は両社の研究人材の招聘なども検討していきたいと考えています。ワシントン大学や関係企業との協力のもとで、地球規模課題を解決する研究成果の創出、人材の育成に更に取り組んでまいります。

茗渓会におかれましてはますますのご発展をお祈りするとともに、引き続き本学へのご支援をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

▲米国商務省におけるワシントン大学との調印式の様子

令和５年度決算報告

貸借対照表

令和６年３月31日

（単位：千円）

科　　目	当 年 度
Ⅰ 資産の部	
１．流動資産	
現金預金	93,505
未収消費税	—
流動資産合計	93,505
２．固定資産	
特定資産	
固定性預金	41,455
投資有価証券	305,880
その他資産	
建物	546,700
構築物	2,345
機械装置	1,195
什器備品	3,017
土地	314,776
固定資産合計	1,215,368
資産合計	1,308,873
Ⅱ 負債の部	
１．流動負債	
前受金	27,077
未払法人税	10,849
未払消費税	664
預り金	452
流動負債合計	39,042
２．固定負債	
退職給与引当金	0
満期共済金引当金	5,350
保証金	1,400,000
修繕費積立金	0
固定負債合計	1,405,350
負債合計	1,444,392
Ⅲ 正味財産の部	
一般正味財産	△135,519
正味財産合計	△135,519
負債及び正味財産合計	1,308,873

正味財産増減計算表

令和５年４月１日から令和６年３月31日

（単位：千円）

科　　目	当 年 度
Ⅰ 一般正味財産増減の部	
１ 経常増減の部	
（1）経常収益	
基本財産運用収益	
地代収入	76,248
建物賃貸収入	14,177
会費収入	
正会員受取会費	12,666
茗渓フェロー会費	2,048
事業収益	
委託料収入	1,813
広告料収入	2,510
寄附金	
寄附金収入	2,857
雑収入	
受取利息収入	1
駐車場利用収入	1,271
雑収入	2,212
有価証券受取利息収入	
積立資産収入	3,373
経常収益計	119,176
（2）経常費用	
事業費	
給与手当費	23,552
助成金	3,453
式典事業費	967
記念品費	0
旅費交通費	1,907
負担金	230
通信運搬費	4,577
印刷製本費	2,768
水道光熱費	2,350
業務委託費	9,770
租税公課	37,310
修繕費	2,459
火災保険料	878
占春園支出	0
管理費	
監事報酬	150
臨時雇賃金	0
退職金	0
福利厚生費	42
総会諸費	870
会議費	271
旅費交通費	800
通信運搬費	1,413
什器備品費	756
消耗品費	898
印刷製本費	1,057
集金費	1,767
諸謝金	695
負担金	28
会員データ管理費	2,378
渉外費	6
賃借料	595
減価償却費	27,278
雑費	87
経常費用計	129,312
当期経常増減額	△10,136
２ 経常外増減の部	
（1）経常外収益	
経常外収益計	3,850
（2）経常外費用	
固定資産除却損	0
経常外費用計	3,850
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△10,136
一般正味財産期首残高	△125,383
一般正味財産期末残高	△135,519
Ⅳ 正味財産期末残高	△135,519

収支計算書

令和５年４月１日～令和６年３月31日

（単位：千円）

科　　目	会費会計	資産会計	合　計
Ⅰ 事業活動収支の部			
(1) 事業活動収入	17,393	99,058	116,451
会費収入	14,713	0	14,713
正会員会費収入	12,665	0	12,665
フェロー会費収入	2,048	0	2,048
事業収入	2,510	92,238	94,748
地代収入	0	76,248	76,248
建物賃貸収入	0	14,177	14,177
委託料収入	0	1,813	1,813
広告料収入	2,510	0	2,510
寄付金収入	133	0	133
寄付金収入	133	0	133
雑収入	37	3,447	3,484
駐車場利用収入他	0	1,271	1,271
受取利息収入	1	0	1
その他雑収入	36	2,176	2,212
有価証券受取利息収入	0	3,373	3,373
積立資産収入	0	3,373	3,373
(2) 事業活動支出			
事業費支出	16,010	73,019	89,029
管理費	8,379	3,243	11,622
事業活動支出計	24,389	76,262	100,651
事業活動収支差額	△6,996	22,796	15,800

令和６年度　一般社団法人　茗渓会　事業計画

１．事業計画のねらい

⑴ 茗渓創基150年記念事業の継続とともに、将来を見通した事業展開を目指す。
⑵ 地域組織等の活動の充実・活性化事業を推進する。
⑶ 地域組織を基盤に、教育界と産業界（官界を含む）を二本立てとして組織化を推進する。
⑷ 正会員の増加及び会費納入アップのために、団体加入の受け入れや会員ネットワークの構築など組織的・計画的な活動を推進する。

２．事業の目的（定款第３条）

会員相互の親睦及び互助並びに知徳の啓発を図り、併せて国立大学法人筑波大学の目的及び使命の達成に協力し、学術、文化、教育並びに社会貢献活動及び国際相互理解の促進に資する事を目的とする。

３．事業の内容（定款第４条）

⑴ 会員相互の親睦や共益を図るために以下の事業を進める
　① 教育界各組織の活動推進　　② 産業界・官界各組織の活動推進
　③ ネットワークの充実による交流促進　　④ 追悼のつどいの実施
⑵ 定期刊行物の発行に関する以下の事業を進める
　① 季刊誌「茗渓」の発行
⑶ 地域組織等の会員の教養向上に資する以下の事業を進める
　① 地域組織等主催による公開講座への助成及び講師派遣
⑷ 学術、芸術、社会貢献等の課外活動に対する支援、顕彰等に関する事業を進める
⑸ 財産の管理・運営に関する以下の事業を進める
　① 茗渓創基150年記念事業を機とした財政の再編強化
　　• 会費の増収を図るための施策の立案と実施
　　イ 会員名簿を整備し、各地域組織等との連絡調整態勢を確立する
　　ロ 新会員の入会促進策の立案と実施
　　ハ 乙会員の甲会員化への工夫と推進
　② 適切な資産運用並びに積極的な利活用
⑹ 教育の振興、普及活動に資する以下の事業を進める
　① 筑波大学との連携による学生のキャリア形成　　② 教職希望者の育成及び研修会の開催
⑺ 茗渓創基150年記念事業の継続・推進
⑻ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

４．前項の各事業は、全国において行うものとする

令和６年度予算書

令和６年４月１日～令和７年３月31日

（単位：千円）

科　　目	会費会計	資産会計	合計
Ⅰ 事業活動収支の部			
１．事業活動収入			
⑴ 事業活動収入			
会費収入	18,000	0	18,000
正会員会費収入	15,000	0	15,000
フェロー収入	3,000	0	3,000
事業収益	2,510	96,678	99,188
地代収入	0	76,248	76,248
建物賃貸収入	0	18,000	18,000
委託料収入	0	2,430	2,430
広告料収入	2,510	0	2,510
寄付金収入	0	0	0
寄付金収入	0	0	0
雑収入	1	2,227	2,228
駐車場利用収入	0	1,927	1,927
受取利息収入	1	0	1
その他雑収入	0	300	300
有価証券受取利息収入	3,890	0	3,890
積立資産収入	3,890	0	3,890
事業活動収入計	24,401	98,905	123,306
⑵ 事業活動支出			
事業費支出	42,756	56,824	99,580
給料手当支出	24,700	0	24,700
助成金支出	2,600	0	2,600
式典費支出	450	0	450
旅費交通費支出	1,300	0	1,300
負担金支出	240	0	240
通信運搬費支出	4,800	0	4,800

科　　目	会費事業会計	資産会計	合計
印刷製本費支出	2,800	0	2,800
租税公課支出	0	41,310	41,310
業務委託費支出	3,500	6,500	10,000
光熱水料費支出	1,750	750	2,500
火災保険料支出	616	264	880
修繕費支出	0	8,000	8,000
管理費	9,284	2,933	12,217
監事報酬	105	45	150
給料手当	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0
福利厚生費	47	0	47
総会諸費支出	630	270	900
会議費支出	350	150	500
旅費交通費支出	490	210	700
通信運搬費支出	1,050	450	1,500
集金費支出	1,800	0	1,800
什器備品費支出	529	227	756
消耗品費支出	630	270	900
印刷製本費支出	700	300	1,000
会員データ管理支出	1,750	750	2,500
諸謝金支出	525	225	750
負担金支出	20	9	29
渉外費支出	7	3	10
賃借料支出	595	0	595
雑支出	56	24	80
予備費	0	0	0
事業活動支出計	52,040	59,757	111,797
事業活動収支差額	△27,639	39,148	11,509

第13回定時総会議事（要旨）

はじめに

茗渓会第一三回定時総会は、5月23日(木)に茗渓会館「茗渓の間」で開催されました。当日は五月晴れではなかったものの程よい気候でした。

総会に先立ち、この一年の間に亡くなられた方を偲んで参加者一同が「黙祷」を捧げました。矢野事務局長より、代議員総数85名のうち出席者53名、委任状31通(1名は急用による欠席)という出席者多数の状況が確認されました。

初めに井口理事長の挨拶(P4参照)が行われました。筑波大学学長は海外出張のため出席が叶わず、出席者には資料と共に学長挨拶文（P5参照）も配付されました。

定時総会会場

井口理事長

議事に入る前に、今年1月の能登半島地震で被災された石川県の居村代議員より、被災地の近況について報告がありました。居村校長の勤務校では直接的な被害はなかったが学校によっては、校舎損壊、物品破損、体育館損傷などもみられ、奥能登の学校では避難所となって多くの避難者を受け入れ職員が対応するという状況もあったとのことでした。現在も断水が続いているところもあり、住居、交通手段が以前の状況ではない状態の生徒もいて、厳しい状況ではあるが、支援をいただきながら復興しつつあり、これからも様々な形でご支援をというお願いがありました。

石川県 居村代議員

井口理事長を議長とし、海老澤氏、栗原氏2名を議事録署名人として選任し、議事に入りました。

第1号議案 令和5年度事業報告、決算書類及び監査報告の承認について

①事業報告・予算実績報告

矢野事務局長より事業報告が行われました。

矢野事務局長

会員状況は昨年同様減少がみられるということを踏まえて、何点か説明がありました。組織委員会、大学・つくば地域委員会、広報委員会の3委員会が組織されているが、相互連携によるスムーズな運営を図るため、委員長による会議が実施されている。

加えて、事業企画部会、会費検討部会、情報検討部会の3つのワーキンググループが動き始めたこと。

次に、コロナで進まなかった学生支援事業は、OB・OGキャリアカフェなど活性化が見られる。また、全国の24支部の総会に本部から参加して茗渓会全体の課題を共有することができたことなどが報告されました。

會田局長代理

會田局長代理より、令和5年度予算実績差異報告が行われました。

まず、事業活動収入について報告されました。会費は年々減少傾向ではあるが、督促状を出し会費の増収を図ったが効果は芳しくなかった。しかし、会費完納者によるフェロー収入は少し増加して、今後も会費増収に向けて会員に働きかけていく旨の説明があった。そして、事業収益の説明がありました。

次に、事業活動支出の説明がなされ、事業活動収支差額については、150年寄付の分も含めて令和5年度は黒字という報告がありました。続いて次の②③④⑤についても説明がありました。

② 貸借対照表
③ 正味財産増減計算書
④ 貸借対照表及び正味財産増減計算書附属明細書
⑤ 監査報告書

飯塚監事より内容が適正であるという監査報告がなされ、第1号議案については賛成多数で承認されました。

飯塚監事

第2号議案　令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について

矢野事務局長より、令和6年度事業計画（案）の説明がありました。将来を見通した事業展開が重要となっており、事業企画部会が検討し進めている。各支部に本部から参加し連携を強化したい。地域組織等主催公開講座等については名誉教授の会と連携し活性化を図っていきたい。団体加入の受け入れを積極的に行いたい。会員相互のネットワークを活性化させたい。適切な資産運用を図りたい等、数点の説明がなされました。

続いて會田局長代理より令和6年度予算（案）について説明があり、第2号議案は賛成多数で承認されました。

第3号議案　年会費の改定について

年会費の改定につて阿江副理事長より説明がありました。登録会員の減少、会費納入者の激減が会費収入不足を招き、本会の活動を停滞させる危機に直面していることから、現3千5百円の年会費の改定を提案したい。具体的には、改定後の年会費は5千円（フェロー寄付金は変更なし）とし、令和7年度より開始し、対象者は全会員（学生会員、賛助会員、会費完納者は除く）というものです。しかし、並行して、今後も、登録会員や会費納入者を増やす努力は続けていく必要がある等の説明がありました。いくつかの質疑応答の後、第3号議案は賛成多数で承認されました。

阿江副理事長

第4号議案　役員選考について

阿江副理事長より、資料4をもとに、退任理事6名（福岡一雄・田中正造・早川源一・宮尾徹・真田久・西川綾子）、新任理事5名（鈴木一弘・成瀬拓也・長谷川聖修・平塚知真子・藤江昭彦）、任期満了監事1名（小泉淑子）、新任監事1名（中道徹）、また、継続の重任理事・重任監事について説明があり、第4号議案は承認されました。

第5号議案　定款の改定について

矢野事務局長より、定款における総会開催時期と会費の部分の変更について説明があり、いくつかの質疑応答の後、第5号議案は承認されました。

以上をもって議案は全て終了しました。

その他

- 宣揚歌「桐の葉」の文言についての意見交換がありました。
- 筑波学都資金財団解散の経緯について田中理事長より説明がありました。

筑波学都資金財団 田中理事長

以上をもって総会は閉会となりました。

（茗渓会理事　小泉いづみ）

～医薬品関連業界交流会～ご参加お待ちしています。
交流の輪を広げませんか★

コロナ禍を経て、〝ちょっとしたつながり〟の重要性が再確認されています。筑波大学に薬学部はありませんが、卒業生には医薬品及び関連業界関係の方々が多くいらっしゃるようです。多様な学部出身こその幅広い視点で、輪を広げませんか。概ね年2回開催で交流しています。6月の第6回では、創薬研究に欠かせない「バイオバンク」と、湘南アイパークでの供給の挑戦について、生物学類、医科学研究科で学んだ鈴木聡さん（NPO法人HAB研究機構）にお話いただきました。リアル・オンライン参加の12人で議論を深めました。次回は10月頃予定です。下記連絡先にてお待ちしています！

茗渓会事務局（大塚事務所）　☎ 03-3941-0136　E-mail：peer@meikei.or.jp

50年目の秋に集まれ

筑波大学一期生　代々木でのオリエン合宿から　50年目の再会へ

2024年 10月 5 日　茗渓会館にて　開催します

50周年の祝いの後に

筑波大学は昨年、開学50周年の記念イベントを催しました。様々なかたちで配信等もおこなわれましたので、参加された方もおられるかと思います。

祝50周年。まさしく祝福すべきこの半世紀という歴史。しかし、一期生である私たちからすれば、本当のアニバーサリーは今年、２０２４年なのです。なぜならば。公式の年次はいわゆる筑波大学法案が成立した１９７３年の９月、その翌月の開学となっているようですが。

代々木　ようやく　遅き春

けれど、私たち一期生が新入生となりはじめて顔を合わせたのは１９７４年の遅き春。４月25日のことでした。入学式の後は、バスで参宮橋のオリンピック記念青少年センターに移動し、オリエンテーションと称する合宿生活に。校舎も宿舎の建設も、その他もろもろの準備も間に合ってなかったのでしょうね。そんな体験も懐かしい思い出でした。

同じ屋根の下　同じ風呂の仲

我ら一期生は（地元出身の学友たちをのぞいて）全員真新しい平砂学生宿舎に入居することになりました。全室が個室というのは画期的な環境でした。従来の学生寮のイメージとは断然違います。

共用棟の食堂はカフェテリア形式でお好みのメニューが選べる。いわゆる学食のイメージとは違う。新しかった。でも経済的には問題もあって。おかずをついつい追加してしまうからね。だから仲間で共同自炊したり。学生宿舎ではそれもできる環境だった。分けあって、同じ釜の飯。風呂も共用棟で。同じお湯。裸の付き合いしたんだものね。懐かしい。

思い出も　もう築50年

いまの筑波大生に聞くと、学生宿舎の評判はイマイチのようだ。それはそうだなあ。私たちの時代に、全員個室、全館セントラルヒーティングは画期的だったけれども。全館空調じゃないし。汗をかいてもシャワーもないし。そもそも相当古いでしょ、築50年ともなれば。

ピカピカだった。なにもかも。私たち一期生の思い出は。そう思うと、やはり稀有な体験をしてきたのだ。代々木に始まって、宿舎で、体芸棟で、グランドで、同期生として過ごしたあの日々は。いまでも輝いているけど。築50年かあ。

筑波でよかった　ほんとうに

とはいえ、変わらないことも多いと思います。広いキャンパス。自転車が必要なこと。ペディストリアン。自然環境はますます豊かに、森のようだ。筑波らしさというイメージも、ずっと続いているものがある。それは卒業生たちが築いてくれたこともありますよね。真面目ってよくいわれる。悪いこ

とじゃない。いまの学生たちも、真面目で素直で。のびのびとしているのも、環境の恩恵かと思う。のんびりした性格ともいわれるけどさ。いいじゃないか。あくせくピリピリするよりも。仲間たちを見ても、いまの学生諸君と話しても、そう思うのです。

50年目の一期の集い

この秋に、第一期生の真の50周年として。半世紀の出会いを記念する同窓会が開催されます。50年目の再会です。この記事をお読みのみなさんで、心当たりのあるお知り合いがいらっしゃいましたら、ぜひ、お伝えください。詳しくは下欄にてご案内しております。

1974年入学の一期生といえば、そろそろ、もしくはすでに「古希」という年廻りなんです。1955年前後の生まれですからね。上級生の先輩はいないけど、1浪2浪の先輩はいた。だからすでに「古希」を迎えられた仲間もいます。

第一回卒業生代表として

ここで個人的なご挨拶をしておきます。私、一倉宏、第一学群人文学類卒。職業はコピーライター。サントリー株式会社に入社し、宣伝部に所属する専門職として働いた後、独立して現在に至ります。「あなたと、コンビに、」「まだ、ここにない、出会い」とか「家に帰れば、積水ハウス」というコピーをご存知でしょうか。長く使われていますので。私の仕事歴ということになります。長いです。

第一回卒業生を代表して、答辞スピーチしたという経験もあります。おそらくコピーライターになるから、なんか文章書けると思われたのかな。それはいまもこうして。この文章を書いてます。

国立大もブランディング

2010年、当時の山田博信学長以下の訪問を受け、大学のブランディングに関して協力することになりました。それも私の職業柄、その故でしょう。そうして、いまの筑波大学のスローガン、入学式卒業式等で歌われるメッセージソングができました。そのフラッグなどご覧になったことがあるかもしれません。

国立大学が法人化されて以来、どちらもブランディングを考えるようになっています。私は仕事の経験から「歌の力」を知っていますので、それも合わせて提案しました。ちなみに。東北大学は同じく卒業生の、小田和正氏によって校友歌「緑の丘」がつくられました。いかにも美しい歌詞とメロディ。こちらも負けてないつもりです。コンセプトも違うし。

卒業生たちの歌もつくって

広告の仕事をしているので、いわゆるCMソングをつくる経験もし、そこから発展してフルサイズを作詞した歌もあります。たとえば、斉藤和義「ウエディング・ソング」は、ゼクシィという雑誌のCMのためにつくったものです。

そのことを知っている学友たちから、あるとき言われました。自分たちの歌もほしいなと。もちろん「宣揚歌」があり、「常陸野の」もあるのですが。なにしろフォーク世代ですからね。ギター伴奏でみんなで歌えるような、ということで。

生まれた歌「あの日の君に」

筑音協の創立メンバー、石島正秀君が作曲、私が作詞。人文中心の集まりでは何回か歌われています。この春、50周年の会のため、伴奏オケを吉川洋一郎君(三期生)がつくってくれました。

あの日の君に

詞：一倉 宏　曲：石島正秀

あの日の君が遠くで
笑いながら手を振ってる
僕らいつか　そうだいつも
歩いた道があった

雨上がりの朝　早く
まだ「作りかけの未来」を
泥だらけの　道をいそぐ
春から夏へと

虫の声と　自転車と
夜の広場　叫ぶ声
徹夜で交わした　熱い言葉も

未来とは　いつも手探りで
いつか　それぞれ歩いた道
あの日　あの時の　君に会いたくて
そっと　君の名を呼ぶ

（以下略）

と、いうことで。

一番だけですが、ご紹介させていただきました。吉川君がアレンジしてくれたカラオケもできました。みんなで歌うとぐっときますよ。彼はメッセージソングの作編曲者でもあって。この歌は、それへのアンサーソング、といったイメージにもなっています。「未来」というキーワードを、合わせ鏡のようにして。

どうでしょうか。「泥だらけの道」は、開学初期だけでしょうけど。それぞれの年代で、ふさわしい改変をして、歌われるようになったらいいなと思います。

（一倉　宏）

◆【筑波大学一期会】のお知らせ

日　時：令和6年10月5日(土)
14時～17時

場　所：茗渓会館2階
（茗渓の間）

問合せ：茗渓会 事務局
03・3941・0136
info@meikei.or.jp

幹　事：
第一自然　髙橋　基之(理事)
第一社会　廣田　則夫(理事)
小林　千洋(理事)
第一人文　一倉　宏
竹下　克二
医　学　村岡　亮
体　専　西塚　春義
奈良　隆
（R6年6月末現在）

板橋区平和都市宣言　板橋区平和公園、平和の灯
（板橋区HP、ページ番号1007075、更新日2022/12/6）より

Peer Garden

茗渓アルバム　茗渓創基150年記念事業

茗渓150年の思い出を紡ぎませんか？

桐花寮ふたたび

小金井の松永泰典氏（S37教大英文）から手紙が届いた。原稿用紙4枚に丁寧な文字が並んでいる。

季刊誌『茗渓』１１１６号（令和5年春号）は、「私には飛び上がらんばかりの特別な感慨をもたらすものでした」と、手紙の書き出しである。

昭和32年、「長崎県の公立校からぽっとで」の松永氏は、「地方の低所得層からという資格を持って」上板橋の桐花寮に入寮できた。

寮の暮らし向きは、「冬の北風はいかようにも防ぎきれませんで、早目に布団をかぶって震えながら、気合いだとばかりに学びに向かうよりほかはなかった」と回想している。

桐花寮旧寮は、天井はなく、梁が剥き出しの屋根裏が見えていた。数室離れた部屋から「放屁の元気な便りが届いた」り、「オーイ、明日の3限、お前出るか」などの交信も、屋根裏を飛び交った。

旧寮の東に新築された二階建ての新寮は、四人部屋、とっつきが二段ベッドルーム、隣が四隅に机を配置した勉強部屋で、「上級生しか入居できな」かった。

旧寮住まいの松永氏にとって「いつの日か入る日を夢見る」憧れで、「東雲に輝く新寮を仰ぎ見た」と記していた。

松永氏より2年先輩の浜田章作氏（S34教大法政）が送信してきた。

『桐の葉―閉寮記念誌』と『昭和34年度東京教育大学桐花寮々生名簿』を贈呈された仙台の今部治朗氏は、昭和34年に入寮しているから、浜田、松永、そして今部の三氏は、同時代の桐花寮で、学生生活を過ごしたようである。

今部氏が入寮した昭和34年は、キューバ革命とメートル法実施に始まり、3月には「少年マガジン」や「少年サンデー」、翌月に「文春」など週刊誌が創刊された。

平成天皇が御成婚され、6月、天覧試合で長嶋が阪神村山からサヨナラ本塁打を放った。この年前半の出来事である。

戦後十五年、日本は、東京五輪を経て高度経済成長の道をひた走る。

アタックについて

浜田氏は、「茗渓アルバム」に掲載された左の写真（『茗渓』１１１６号、9頁）の謎を解き明かしてくれた。

昭和30年頃の食堂。奥の食器棚に「食事のアタック禁止」と書かれた張り紙がみえる。どういう意味だろうか。　『桐の葉』所収

桐花寮には、各室ごとにまとめて用意されている夕食がまだ残っているのを自由に利用できる習わしがあった。

寮生は…腹が減るのも早い。そこで、いつからか、東武東上線上板橋駅（ひと駅前の常盤台との中間に寮は位置していた）で下車する寮生が到着するのを待って、残食利用は自由ということになっていた。田舎出の寮生には有難かった。

ところが、やがて、電車が寮の前を通過する時間にまで早まってしまい、警笛が聞こえるや否や、われ先に食堂に駆け込んだものだった。

冷や飯を温めるために、禁制の電気コンロを使うものだから、バサッとヒューズが飛んで暗闇となり、「誰だ！」と怒鳴られたものだ。

常盤台駅南の旧日本旅館を改装した分寮は少人数でアタックはなく、みんなで雑炊の鍋を囲んだ。飽食の時代からは想像もできまい。

朝永学長のこと

入寮して間もなく寮祭があった。松永氏は2寮代表として「裸踊り（へそ踊り）」を演じ、第一位となった。寮祭に来場していた朝永学長が満面の笑みを湛え握手してきた。その時の感動を、松永氏は伝えている。

「ノーベル賞受賞者の手は柔らかく暖かかった」

朝永学長の気さくで温かい人柄は、「名もなき一学徒に、エネルギー保存の法則を惜しみなく教授されていた」授業にも表れていたし、新作落語で「トリ」を務めた寮祭にも表れた。

男だけの聴衆に向けて、「えー、葉巻の咥え方を見ていますと、トイレで自分の持ち物の持ち方が自然にわかるんですね」洒脱で大胆なツカミから噺が始まる。

『茗渓創基150年記念誌』に、朝永学長の逸話が紹介されている（同332頁）。

茗渓創基150年記念祝賀の席である。長瀬要石氏（S35教大農）から来賓の挨拶があった。その中で語られた駒場寮での逸話である。授業中に寮の一室で仲間と会食に興じていた。そこに朝永振一郎教授が通りかかった。当時、学長であった朝永教授は長瀬達の様子を見咎めもせずに、こう声をかけた。

「きみたちは、心の日向ぼっこをしているんだね。」

跡地の桐花寮の跡地

浜田氏は、昭和30年4月、旧2寮4室に入室となった。

「元板橋連隊の厩舎に座板を張っただけで天井はなく、冬の夜中、顔になにかがかかるので目覚めると、雪が吹き込んでいた」と、浜田氏が回想するように、松永氏も、「旧寮は旧日本軍の馬小屋だったと長い間理解して」おり、季刊誌『茗渓』で、「高射砲陣地だったということを知りました」と記していた。

該当箇所は、東京教育大学桐花寮閉寮記念誌『桐の葉』（『桐の葉』編集委員会、1978年3月26日発行）の「桐花寮（東京教育大学上板橋宿舎）戦後略史」に掲載されている以下の文にある。

戦後の桐花寮は、「高射砲陣地跡の仮兵舎、弾薬庫から始まる。《仮兵舎》と言えば聞こえがよいが、要するにバラック、掘立小屋に近い。当時貴重品のガラスはろくになく、床板は所々になく、縁の下からは寒風が吹き上げた。」（同9頁）

『茗渓創基150年記念誌』に、片桐重延氏（S28教大物）が寄宿舎生活を回想している場面がある。

「桐花寮…に帰れば、やはり青春の連帯感は生きていた。一年足らずの寮生活であったが、多くの教育を愛する友人と接し、寮の裏手にあった高射砲陣地跡の広場で夜を徹して宣揚歌を歌ったこともある。」（『同34頁』

板橋区ホームページに、平和公園の紹介がある。面積18,600㎡、東武東上線上板橋駅から徒歩5分の「この公園は、旧東京教育大学の寄宿舎の跡地に、板橋区が平和都市宣言をしたことに因み名称を《板橋区平和公園》とし」、昭和61年暮れに完成。戦時中は、「陸軍高射砲陣地が築かれていた」とも記されていた。

正式には、陸軍前野高射砲陣地といい、高射砲第116連隊が駐屯していた。

高射第一師団（終戦時）

所属聯隊名	任務地
高射砲第111	安行村
高射砲第112	世田谷
高射砲第113	川崎市
高射砲第114	月　島
高射砲第115	諏訪田
高射砲第116	上板橋
高射砲第117	横浜市
高射砲第118	後楽園
高射砲第119	市川市
照空第001	八王子

116連隊は、京浜地区の政治、経済、軍需の中枢を防衛すべく編成された第一師団に属した。

平和公園内に、「平和の池」がある。高射砲陣地の周囲には防火用の溜池があったが、その名残りだろうか。

板橋区平和公園、平和の池
板橋区HPより

この一帯は、荒川や石神井川など大小の河川が多く、水運や水利に恵まれていた。また、崖線沿いには豊かな地下水がありきれいで豊富な水が手に入った。

豊富な水資源に加えて、関東大震災以後、震災の比較的小さかった上板橋前野町一帯は、工業甲種特別地域に指定され、伝統産業の伸銅をはじめ、非鉄、化学工場、光学兵器工場などが立ち並び、軍需工業の拠点となっていた。

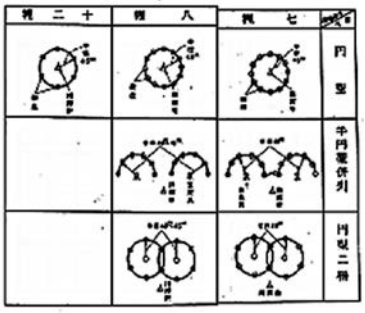
このように、桐花寮の北に広がる前野工場地帯、東の陸軍造兵廠、西の成増陸軍飛行場というように、上板橋一帯は米軍による空襲の重要な標的で、20回程の空襲に見舞われたと記録されている。

国立公文書館保管資料に、参謀本部の『高射砲陣地築設要領』がある。

昭和十八年。前年4月のドーリットル空襲（東京への最初の空襲）によって、米軍による本土空襲が現実のものとして認識され、帝都防空が喫緊の課題となっていた。また、米軍が長距離爆撃機を開発している情報を察知したのも『要領』が出された年であった。

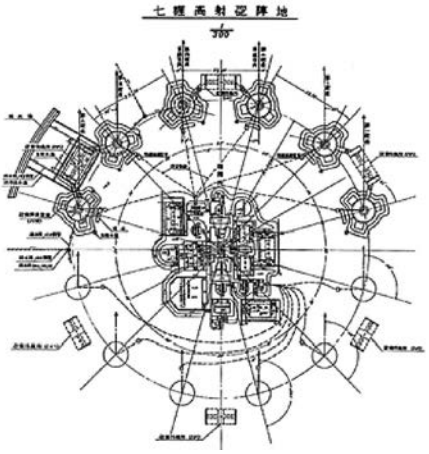
首都及び京浜地区の防衛のために関東南部一円に高射砲陣地が整備された。

左図は、『要領』所収の高射砲設計図と3種の高射砲を一覧にまとめたものである。



制式名称	最大射高	有効射高	製造数	砲身重量	重　量
八十八式七糎野戦高射砲	9,100m	7,000m	2,000門	482kg	2,450kg
九十九式八糎高射砲	1,042m	8,000m	500門	1,250kg	6,500kg
三式十二糎高射砲	14,000m	12,000m	140門	4,070kg	19,800kg

高射砲の陣地は中隊で6門、円形もしくは半円形に展開する構成で、それぞれ1m程度の掩体に護られた半地下式の砲座があった。砲座は直径4m前後の円形のコンクリートで、周囲には3～4組の即応弾薬庫が配置されている。陣地の中央部には半地下式の指揮所が設けられ敵機を観測して飛行軌跡を計算する高射算定具からの信号と連想して射撃ができるようにそれぞれの砲座とは配線で接続されていた。



近接信管もレーダー射撃もなく、高射砲の精度は低かった。その弱点を補うために、高射砲陣地と照空灯陣地を方眼状に配置して帝都防空網を作り上げた。

照空灯陣地からの切れ目のない照射が米軍機を追尾し、高射砲陣地からの弾幕は、米軍機に脅威を与えた。

米軍機が高度爆撃から超低空による焼夷弾投下へと方針を切り替えたのは、稠密な帝都防空網の回避も一因にある。終戦まで米爆撃機485機が撃墜された。

厩舎のこと

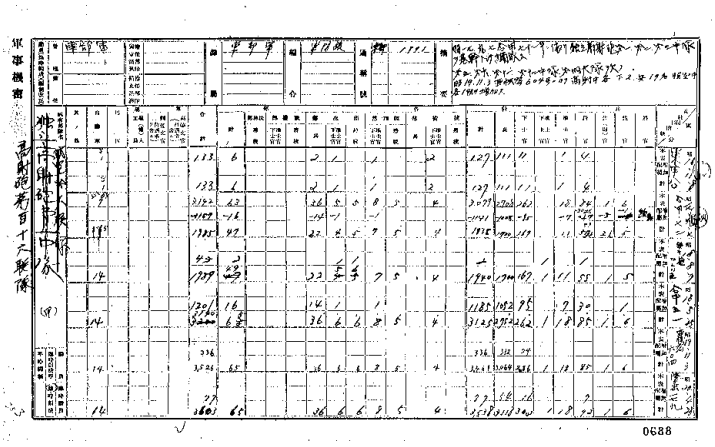
さて、「厩舎」のことである。

八幡東区皿倉山に馬塚がある。

北九州市には八幡製鉄所があり、周囲には数多くの高射砲が配備されていた。皿倉山高射砲陣地もその一つで、馬塚は、そこで使役されていた軍馬の墓である。

高射砲陣地には軍備の搬送に使役される軍馬がおり、厩舎もあった。

左表は、国立公文書館アジア歴史資料センター所蔵、高射第一師団各連隊の内、高射砲第116連隊の現況（昭和16年から昭和20年）を記した表である。



不鮮明なので、説明を加える。

6期毎に人員等が記録されている。右から、兵科、各部（技術部、経理部、衛生部、獣医部、法務部、軍楽部）、それぞれに、「将校、准士官、下士官、兵」の員数が記されている。さらに、「軍属」が続き、「馬匹」「自動車」と続く。「自動車」は14台と記録されているが、「馬匹」は空欄である。「獣医部」も、人員は空欄であった。

ただ、項目に「馬匹」が設けられているということは、軍馬が想定され、飼育する厩舎も設置されていたのだろう。

戦時の桐花寮

戦時の桐花寮は、大塚の師範学校の構内にあった。『茗渓創基150年記念誌』に、寮生の情景が記されている（同332頁）。

昭和19年秋、高橋邦輔氏（S23文四）の回想である。

そろそろ東京の下町に空襲があって、世の中が騒然となってきた。そんな時でも多くの寮生は、それほど慌てず、騒がなかった。大戦争という現実を静かに見つめ、心の中でじっと耐えていた。

仲秋の名月の日、《今宵は月が美しいから、部屋の電気を全部消して、皆で語り明かそう》と皆森さんが自分の人生観をまじえながら歴史哲学について語った。同室の軽部、川西、それに私などが口角泡をとばして反論した。そんな時でも皆森さんは、にこやかな顔を変えなかった。

思い出の品々の寄贈（お願い）

茗渓創基150年記念事業

「茗渓創基150年記念事業」への参加のあり方として、「思い出の品々」を寄贈していただく企画を実施しています。

1．ご寄贈いただく「思い出の品々」について

- 「思い出の品々」につきましては、その内容の指定や限定はございません。
- ご提供頂く場合、「簡単な説明」等を添えていただければ幸いです。

2．送り先

- 電子資料は、メールにて（peer@meikei.or.jp）までお送りください。
- 郵送先は、「茗渓会大塚事務所」宛てに願います。

〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 茗渓会館内（電話 03-3941-0136）

教職相談窓口 一覧

筑波大学 教職サポートルーム分室・相談窓口（R6.4.1～R7.3.31）

2024.4.1現在

名称	姓名	卒年	卒科･群	役職1（茗渓会関係）	役職2（自治体）
連携課	佐藤　達	昭53	教大農化	茗渓会会員	元/水戸市立第四中学校 校長
連携課	植木邦夫	昭58	筑二人間	茗渓会会員	元/県立土浦第一高等学校 校長
連携課	田村和浩	昭61	筑修教	茗渓会会員	元/県立藤代高等学校 校長
連携課	髙村祐一	昭61	筑一人文	支部長、代議員	元/県立水戸第一高等学校・付属中学校 校長
連携課	山田典明	昭55	筑一自然	茗渓会会員	元/石岡市立東小学校 校長

茗渓会窓口（R6.4.1～R7.8.31）

番号	名称	姓名	卒年	卒科･群	役職1（茗渓会関係）	役職2（自治体）
1	北海道	川口　淳	昭58	筑修教	代議員	札幌龍谷学園高等学校 校長
2	青森	前田　済	昭61	筑一自	支部長	青森大学 教授、前/県立青森東高校 校長
3	岩手	髙橋　縁	昭60	筑二人間	支部長、代議員	前/県立盛岡視覚支援学校 校長
4	宮城	土生善弘	昭62	筑体	支部長、代議員	仙台大学附属明成高等学校 校長
5	秋田	筒井　勝	昭62	筑体	支部長、代議員	県立男鹿工業高等学校 校長
6	山形	鳥羽　聡	平08	筑体	事務局長	県高等学校体育連盟 事務局長
7	福島	伊豆幸男	昭55	筑一自	支部長、代議員	県立福島高等学校 講師
8	茨城	海老澤浩一	昭63	筑一人文	支部長	県立鉾田第二高等学校 校長
9	栃木	上岡利夫	昭53	筑一自	元/支部長	宇都宮大学 教職センター特任教授
10	群馬	渡辺昭彦	平05	筑二比	茗渓会会員	県立伊勢崎清明高等学校 校長
11	埼玉	春山賢男	昭55	筑一自	茗渓会理事	秀明大学客員教授、同教育研究所教授
12	埼玉	田中邦典	平04	筑修教	茗渓会会員	埼玉県立総合教育センター所長
13	千葉	百瀬明宏	昭55	筑一人文	支部長、理事	秀明大学教育研究所所長 教授
14	千葉	渡部　徹	昭57	筑一人文	茗渓会広報委員会	秀明大学教育研究所 教授
15	東京	髙橋基之	昭53	筑一自	支部長、常任理事	都教職員研修センター研修部教育開発課研修研究支援員
16	東京	笹　のぶえ	昭56	筑二比	支部役員、代議員	大妻女子大学教職総合支援センター特任教授
17	神奈川	加藤充洋	昭56	筑一社	支部長、代議員	横浜こども専門学校校長
18	神奈川	大石　進	昭56	筑体	事務局長、代議員	横浜リゾート＆スポーツ専門学校校長
19	山梨	小林　智	昭63	筑修教	支部長、代議員	前/県立清州高等学校 校長
20	長野	志津　亨	昭61	筑一自	支部長、代議員	県松本美須々ヶ丘高等学校 校長
21	新潟	山下幸治	平08	筑芸修	事務局長	県立教育センター
22	富山	中村謙作	昭62	筑一自	支部長、代議員	県立砺波高等学校 校長
23	石川	居村吉記	平01	筑体	代議員	石川県立工業高等学校 校長
24	福井	牧野保彦	昭63	筑一自	支部長、代議員	前/県立丹生高等学校 校長
25	静岡	望月保宏	昭61	筑一人文	支部長	県立沼津工業高等学校 校長
26	愛知	丹後　茂	昭63	筑体	事務局長、代議員	県立昭和高等学校 校長
27	岐阜	増田智至	昭63	筑二農	支部長、代議員	県立多治見高等学校 校長
28	三重	岡村芳成	昭62	筑一自	代議員	県立桑名西高等学校 校長
29	滋賀	藤江隆史	平08	筑体	事務局長	県教育委員会事務局 保健体育課
30	京都	三橋利彦	昭58	筑体	支部長	前/東稜高校初任者指導教員
31	大阪	戸井田克己	昭59	筑二比	支部長、代議員	近畿大学 教授
32	兵庫	岸部健司	昭63	筑体	支部長、代議員	県立加古川北高等学校 校長
33	奈良	井上徳之	昭58	筑一自	事務局長	県立高田高等学校 教諭(再)
34	和歌山	岡本　規	平05	筑体	茗渓会会員 庶務	県立海南高等学校大成校舎教頭
35	鳥取	小倉建一	昭53	筑体	支部長、代議員	元/県立八頭高等学校 校長
36	島根	塚田真也	平21	筑博数理	茗渓会会員、庶務	鳥取大学教育学部准教授
37	岡山	中畑里英	昭61	筑体	茗渓会会員	前/県立高梁城南高等学校 校長
38	広島	常國敬太郎	昭60	筑体	茗渓会会員	県立祇園北高等学校 教諭
39	山口	藤本秀夫	平05	筑修体	事務局長	宇部フロンティア大学付属香川高等学校 教諭
40	徳島	田北直樹	平05	筑体	支部参与	県立池田高等学校 教頭
41	香川	山本主税	平01	筑人文	元/支部長	県立高松商業高等学校 校長
42	愛媛	川野光正	平02	筑体	支部長、代議員	県立宇和島水産高等学校 校長
43	高知	楠瀬誠悟	昭61	筑一自然	支部長、代議員	前/県立城山高等学校 校長
44	福岡	稲富　勉	昭61	筑体	支部長、代議員	県立香椎高等学校 校長
45	佐賀	高尾和範	平01	筑二比	茗渓会会員	武雄市立武雄北中学校 校長
46	長崎	山口千樹	昭60	筑二生	支部長、代議員	県立長崎北陽台高等学校 校長
47	熊本	寺本　護	平08	筑体	幹事	県立済々黌高等学校副校長
48	大分	田崎弘宣	昭63	筑体	元/事務局長	県立日田林工高等学校 校長
49	宮崎	松田太郎	平05	筑芸	茗渓会会員	県立宮崎商業高等学校 教頭
50	鹿児島	鹿倉　貢	昭57	筑体	前/事務局長	(公財)鹿児島県学校給食会 理事長
51	沖縄	三輪一義	平02	筑修体	事務局長	琉球大学教育学部 教授

「知の提供」誌上講座から出前講演へ

名誉教授の会会長　大嶋建一

「筑波大学名誉教授の会」（以下、名誉教授の会と表現）は2020年1月に「茗渓会」の連携組織として加入して以来、4年半が経過しました。その間、2つの共同事業が開始されました。

その1として、「名誉教授の会」では2018年から「つくば談話会」をつくば市内の会場にて定期的に開催して、話題提供を行っていました。しかし、2020年以降、コロナ禍では対面方式からオンライン方式にて談話会を実施しています。2021年1月に開催しました第6回のつくば談話会からは「茗渓会」と共催で開催し、本年7月には第15回の開催に至っています。なお、この情報は茗渓会のホームページにてお知らせしています。

その2として、研究と教育の両分野で、長年にわたり、世界を相手にお仕事を遂行し、退職後も大学の枠を超えて日常的に社会貢献事業に関与しています名誉教授の先生方を茗渓会及び地域組織の会合等に講師として派遣する企画、「知の提供」が2020年4月に立案されました。しかし、当時、コロナ禍で、出前講演の実施が困難と判断し、誌上講座として進めることになりました。最初の提供者は田中喜代次先生で、その後、本年春号までに12回の記事を掲載しました。その記録は**表2**に示しました。なお、派遣講師10名の情報は季刊誌「茗渓」2022年秋号（No.1114）10ページに掲載済みで、新たに加わった2名の先生に関しては**表1**で示します。

現在、コロナ禍での移動制限が完全になくなりましたので、共同事業の「知の提供」は当初の目的である出前講演を開催致したいと思っています。この企画は本年5月23日茗渓会館にて開催されました第13回「茗渓会」定時総会にて出前講演を紹介いたしました。

この企画の実施に際して、申込者（団体）、申し込みの条件等の担当窓口は茗渓会事務局が担当しますので連絡して下さい。

表1　新規加入の先生

No.	氏名・出身	担当学類・大学院／専門分野	講演題目
11	田中　博 新潟県	地球学類・生命環境科学研究科／ 大気科学・気象学・地球流体力学・地球科学	1．地球科学 2．エネルギー事情と太陽電池 3．カオスの世界
12	秋本　克洋 兵庫県	応用理工学類・数理物質科学研究科／ 電子工学・光エレクトロニクス・結晶工学	1．LED照明－発光のしくみ－ 2．エネルギー事情と太陽電池 3．新しい留学の形態、ダブルディグリープログラムとジョイントディグリープログラム

表2　これまでの誌上講座一覧

	季刊誌『茗渓』発刊（年, No.）掲載ページ	氏　名 出　身	担当学類・大学院／ 専門分野	季刊誌『茗渓』掲載題目 項　目
はじめに	2021年 春号, No.1108 P10～11	大嶋　建一 群馬県	応用理工学類・数理物質科学研究科／物性物理学・回折結晶学	茗渓会と名誉教授の会の連携企画「知の提供」の実施計画
第一回	2021年 夏号, No.1109 P20～21	田中喜代次 滋賀県	体育専門学群・人間総合科学研究科／健康増進学・老年体力学・健幸華齢学・スポーツ医学	**「健康華齢のためのスマートライフ」** スマートダイエット（賢い食べ方） スマートエクササイズ（運動の賢い楽しみ方） スマート服薬（賢い服薬方法） スマート脳トレ（賢い脳トレ）

	季刊誌『茗渓』発刊(年,No.)掲載ページ	氏　名 出　身	担当学類・大学院／専門分野	季刊誌『茗渓』掲載題目 項　目
第二回	2021年 秋号, No.1110 P8～9	守橋　健二 秋田県	化学類・数理物質科学研究科／量子化学・物理化学	**「化学的な知識に基づいて考える環境問題」** 総合科目「現代人のための科学」を振り返って つくば市エキスポセンターでの「おとなのためのサイエンス講座」 空気を考える オゾン層を考える 地球温暖化を考える エネルギーを考える
第三回	2022年 正月号, No.1111 P12～13	白岩　善博 山形県	生物学類・生命環境科学研究科／生物学・植物生理学・藻類生理学・マリンバイオテクノロジー分野	**「ウイルスと共に生きる海洋植物プランクトンの巧妙な生存のしくみ」** 今、なぜこの話題か？ 海洋植物プランクトンとウイルス エミリアニアがもつ特徴的な脂質分子 藻類とウイルス間の脂質合成遺伝子の共有 藻類の物質生産と光合成のしくみ 代謝系を鉄道路線図に載せて理解する
第四回	2022年 春号, No.1112 P16～17	山部紀久夫 大阪府	応用理工学類・数理物質科学研究科／半導体・絶縁体材料の信頼性物理	**「進化する極薄ゲートシリコン酸化膜を目指して」** シリコン集積回路とは 高信頼MOSFETとは シリコン酸化膜の信頼性課題の克服 製造プロセスインテグレーション 酸化応力と膜厚の均一性 なぜ絶縁破壊するのか？
第五回	2022年 夏号, No.1113 P22～23	真田　　久 東京都	体育専門学群・国際スポーツ開発学専攻・スポーツ・オリンピック学学位プログラム／オリンピック学・スポーツ史・スポーツと文化	**「東京2020大会を振り返って」** オリンピックと感染症 　古代オリンピック 　近代オリンピックと感染症－アントワープ1920大会－ 　「精力善用・自他共栄」の誕生 東京2020大会の光と影
第六回	2022年 秋号, No.1114 P8～9	喜多　英治 兵庫県	応用理工学類・数理物質科学研究科／応用物理学・磁気工学・高等応用教育（前職：高専校長）	**「技術者教育と高専」** 高専の始まり 高専教育の長所と短所 高専生の進路 高専教育あるいは技術教育の変化、高専の対応 技術教育の実践 エンジニアリングの現代的意味
第七回	2023年 正月号, No.1115 P10～11	村上　正秀 北海道	工学システム学類・システム情報工学研究科／航空宇宙工学・低温工学・スポーツ医学	**「宇宙からの天体観測を支える技術」** ポーラスプラグと名付けられた気・液分離器の開発 米・蘭・英共同開発による初の赤外線宇宙衛星IRASの打ち上げ NASAによる宇宙背景放射探査機COBEの打ち上げ 日本の本格的赤外線天文衛星「あかり」の打ち上げ NASA、ESA、CSAによるジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡（JWST）の開発
第八回	2023年 春号, No.1116 P18～19	大嶋　建一 群馬県	応用理工学類・数理物質科学研究科／物性物理学・回折結晶学	**「元素講話」** 元素発見の歴史 元素と原子の違い 元素周期表の見方
第九回	2023年 夏号, No.1117 P18～19	白川　友紀 大阪府	情報学類／工学システム学類・システム情報工学研究科／高大連携（大学入試）・サイエンスコミュニケーション	**「ウェブアプリケーションを使ってみませんか」** ウェブサイト作成が容易に ウェブアプリケーション利用の例 DXが進まない日本で
第十回	2023年 秋号, No.1118 P14～15	新井　達郎 埼玉県	化学類・数理物質科学研究科・教育研究科／物理化学・光化学・光生物学・光医学	**「光化学と色」** 光と電子と色 身近な現象 視覚（超高速な光化学反応に始まる） 黄疸とビリルビンと光の関係（新生児黄疸の光療法について） 蛍光と色（高濃度では赤褐色、希薄溶液では黄緑色に見える色素のなぜ）
第十一回	2024年 正月号, No.1119 P14～15	田中　　博 新潟県	地球学類・生命環境科学研究科／大気科学・気象学・地球流体力学・地球科学	**「間違いだらけの地球温暖化論争」** 温暖化の半分は自然変動 太陽定数は定数ではない IPCC仮説は完全崩壊する ポリティクスに凌駕されるサイエンス
第十二回	2024年 春号, No.1120 P18～20	秋本　克洋 兵庫県	応用理工学類・数理物質科学研究科／電子工学・光エレクトロニクス・結晶工学	**「留学政策の古今」** 留学の歴史－奈良・平安時代－ 留学の歴史－明治時代－ 留学の歴史－昭和後期以降－ 新たな留学の形態－ダブルディグリー制度－

元素講話こぼれ話 第五話：50番目の元素スズに関して

大嶋　建一

50番目の元素スズは銅や鉄などと同様に古代から知られている50番目の元素である。元素記号のSnはラテン語の「Stannum」に由来する。また、英語名の「tin」はエトルリア文明の神「ティニア(Tinia)に由来している。漢字の「錫」は音を示す「易」と意味を示す「金」からなる。石器の時代が終わり、鉄が登場するまで一つの時代を開いた「青銅」はスズと銅の合金である。その合金は固いが銅単体より融点が低く、鋳造や加工が容易であったので、青銅器時代には装飾具から武器、防具に至るまで、幅広く使われていた。現在においてもスズ合金は様々な分野で用いられている。以下では、スズの物理的性質、スズペストに関する例、用途の具体的な例、について述べる。

スズの状態図

	α →	β →	γ →	液体
変態温度		13.2℃	161℃	232℃
対 称 性	立方晶	正方晶	斜方晶	

1．スズの物理学的性質

図示したように、13.2℃以下では安定なスズ（αスズ）は灰色の非金属になり、ダイヤモンド型立方晶系の結晶構造を有する。13.2℃から161℃の温度範囲では銀白色の金属であり、展性や延性に富む正方晶系のβスズ構造が安定で、この状態の金属スズをβスズ呼ぶ。さらに、161℃から融点（232℃）までは対称性が斜方晶系であるγスズが存在する。

βスズは室温で酸化被膜のため酸素には侵されず金属光沢を示すが、低温になるとαスズへ変態するとともに、体積が約27％も大きく増加し、かつ展性が失われ形状が崩れる。中世欧州の寒冷地ではパイプオルガンのスズ製のパイプが壊れることが観察された。この現象がパイプの一部から始まりやがて製品全体に広がったことより、スズペストと呼ばれるようになった。

ところで、結晶学的な相変態の観点からみると興味がある。というのは通常の相変態では低温相の対称性は高温相の対称性より低下することであるが、スズの場合にはその逆となっている。私は以前、スズの不思議な相変態のミクロ構造を調べるために、αスズ単結晶育成を試み、更にはX線および中性子散乱手段を用いた研究を行ったことがある。

2．スズペストに関する例

2-1：ナポレオン軍のロシア遠征と敗戦

1812年５月、ナポレオン一世はロシアの大陸封鎖令違反を口実にして、数十万人の大軍でロシアに侵攻した。軍はモスクワに達したものの、市内はもぬけの殻で戦意を失い、その年の10月には退却を決意した。撤退の際にはロシア特有の寒気と食料不足に悩まされ、多くの兵が死亡した。ナポレオンの大軍を崩壊させたのは軍服のスズのボタンがスズペストを起こしたのが原因であると言われているが、この説は懐疑的な意見もある。

2-2：人類初の南極点到達に敗れたスコットの敗因

1911年、英国のスコット隊、ノルウェーのアムンゼン隊、及び日本の白瀬隊は人類初の南極点到達点を目指した。中でも、スコット隊は激しい寒さ、暴風にも耐えたが、最終的にはアムンゼン隊に敗れた。その原因として、予め運んだスズハンダ製の灯油容器の中身が空であったため、熱源を失い倒れたとのことである。

2-3：現代の鉛フリーハンダの導入

2003年欧州では有害物質の鉛を含むハンダの使用が規制され、電気部品のリード線は純粋なスズを使用するようになった。しかし、寒冷地ではβスズがαスズに相変態して導電性を失ったり、気温上昇には再びβスズに戻り、導電性を示し、ショートにより機器が故障した。しかし、この欠点を防ぐために、アンチモン、ビスマス等々の合金化により、その欠点を解消させている。

3．用途の例

3-1：ハンダ材料

20世紀までは融点が低く、しかも接着性が良いスズと鉛の合金製のハンダが利用されていたが、今世紀から鉛の使用が禁止され、いわゆる鉛フリー305合金（96.5％Sn、3.0％Ag、0.5％Cu）がハンダの主流になっている。しかし、その接着性は鉛入りハンダより劣り、しかも脆性であるので、私は栃木県内のハンダ製造企業と連携して、改良型のハンダ材料に取り組んだ経験を持つ。

3-2：工芸品、日常製品

スズは酸化しにくく抗菌作用が強いという特性があり古くから酒器や茶器に使われていた。また、高純度のスズは非常に軟らかく、形、厚さに依存するが、手で容易に曲げることは出来る。これらの特性を生かして、富山県高岡市の鋳造技術を用いた仏具製造の会社が純度100％のスズを用いて、各種テーブルウェア、インテリア雑貨を製作している。私は一辺が24cmの正方形のかご（商品名：KAGOシリーズ）で有していて、置物に依存した形に変えて使用している。日本では“しろめ”と呼ばれ、英語でのpewterはスズを主成分とした低融点合金で、日常製品の一輪挿し、スプーン、ペーパーカッターなどに使われている。

（参考資料：ウィキペディア・フリー百科事典）

『実践的教職概論』

著　　者：高岡正幸（S52教大漢）
本の大きさ：四六判　全176頁
発　行　所：学事出版
発行年月日：2022年11月28日

著者の教育業界における数多くの実践や、教職志望の学生への講義から抽出した「教員が学ぶべきこと」を論じる。

第1章　専門職としての教師
第2章　教員と法①
第3章　教育と法②
第4章　教員研修の在り方
第5章　教師と学校組織
第6章　教師と学校事故
第7章　生徒指導の重要性
終　章　今後の教師の課題

（目次より）

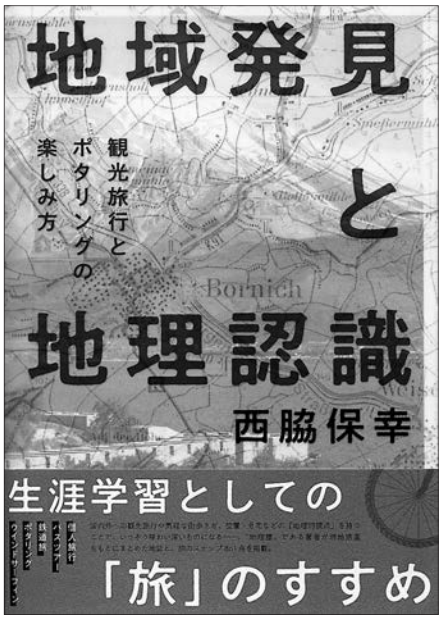
『地域発見と地理認識』
観光旅行とポタリングの楽しみ方

著　　者：西脇保幸（S47教大農経　S49院修地）
本の大きさ：A5判　全500頁
発　行　所：春風社
発行年月日：2022年11月30日

本書では著者の専門分野を生かし、観光旅行やポタリング（自転車による散策）を通じた地理の楽しみ方が紹介されている。序章では著者の出身地浦安の地域変容と著者の国際理解体験などから地理的視点が確認され、次章以降の基盤的な役割を担う。

第1章では個人旅行を念頭に置いたトルコと韓国の所見、第2章では中国・西安からトルコ・イスタンブルまでのバス旅日記、第3章では参加した海外ツアー旅行、第4章では国内鉄道旅行、第5章では関東地方を中心に厳選した13のポタリングコースが、それぞれ紹介される。いずれも著者が現地調査をもとにまとめた地誌で、800点以上の旅のスナップが掲載される。第6章は「ウィンドサーフィンと地理認識」であるが、第5章までの街歩き同様に地理の学びが綴られており、全編を通して生涯学習として〝旅のすすめ〟が提示される。

（著者）



『センテナリアンの3D健康読本』

著　　者：阿部昭吉（S28教大農化　S31院修化）
本の大きさ：四六判　全104頁
発　行　所：東京図書出版
発行年月日：2022年12月12日

多くの友人が他界してしまい、診療所の待合室には多くの老人が徘徊しています。医療制度に疑問を持ったことが、本書を書くことになった動機です。元気な老齢者が増えますように。茗渓会の会員も初老から後期高齢者まで。将来、めでたくセンテナリアンになりますように。

- 高血圧になる原因と血管の秘密
- 原点から高血圧を考える
- 身体を動かして血管を太くする
- 糖尿病は恐ろしいサイレントキラー
- 認知症予防＆治療：脳細胞の活性化
- 頭を良い状態にするノッキングヘッド
- 油脂と生体膜：細胞の活動を支える
- 植物から学ぶガン対策と糖尿病予防
- センテナリアン：老後を楽しむ人

（目次より）

◆JTB「茗桐会」

と　き　令和６年２月29日（木）
ところ　“嘉ノ雅”茗溪会館

「茗桐会」は、東京教育大学・筑波大学卒業生でJTB（旧 日本交通公社）に所属しているOBOG・現役社員の親睦会です。今回、コロナ禍の影響もあり久し振りに開催されましたが、舩山元社長（現 相談役）をはじめ全国から約50名が集いました。当日は、先輩方の築きあげた貴重な経験の話しを後輩が熱心に聞き、若手後輩の最近の活躍や未来の希望の話しに先輩が温かく耳を傾け、世代を超えた親睦を深めました。改めて「つながり」を感じられる会となりました。

（文責：水迫　力）

◆桐心会（神奈川県・茗溪体育同窓会）

と　き　令和６年３月９日（土）
ところ　北京会館（大和市）

茗溪体育の同窓30名が集まり、本部から矢野常務理事並びに西村大塚事務所長にもご出席いただきました。矢野常務理事からは、「桐の葉のこと、伝承と創造」というテーマで短い時間でしたがお話しいただき、茗溪の偉大な先輩方の功績、歴史を知ることができました。楽しい時間を過ごし最後に「宣揚歌」を斉唱し、お開きとなりました。

（文責：西塚祐一（Ｓ55筑体））

◆筑波大学ハンドボール部「デコ」お別れ会

と　き　令和６年３月24日（土）
ところ　筑波大学ハンドボール場・筑波デミ（大学会館１Ｆ）

ハンドボール部の練習場所として開学以来お世話になった外コート（通称デコ、昔はタータンと呼んだ）がなくなると聞いてOB・OGが集まりました。デコと合宿所にハンドボールコート２面を備えるスポーツ複合施設「Sports Complex for Tomorrow（仮称）」が建設されるとのこと、長年の夢が叶う嬉しさの反面、少し寂しさを感じます。当日参加したOB・OGは23歳から90歳までの78名、現役・スタッフと合わせると総勢134名にもなりました。地域別、年代別に交流した後、エキシビジョンマッチを楽しみました。その後の懇親会は、最年長の佐々木茂喜さん（Ｓ35教体）による乾杯の挨拶で始まり、大西武三先生（Ｓ43教体）や河村レイ子先生（Ｓ45教体）から現役や卒業生へのメッセージをいただき、清水宣雄さん（Ｓ54筑体）から開学当時のタータンの思い出が披露されました。最後は、一重円になって肩を組み、宣揚歌「桐の葉」を熱唱し、今後のハンドボール部のますますの活躍と発展を祈念し閉会となりました。

（文責：大石　進（Ｓ56筑体））

第12回東京茗溪会総会
講演会・懇親会のご案内

来る11月24日（日）、12回目を迎える東京茗溪会の総会・講演会・懇親会を開催いたします。どうぞふるってご参集ください。

講演会・懇親会は茗溪会に所属する全ての皆様にご参加いただけます。

詳細は後日、季刊誌『茗溪』秋号及びＷＥＢでお知らせいたします。

記

日　時：11月24日（日）14時～
場　所：嘉ノ雅茗溪館２階
参加費：６千円
演　題：「混迷の時代の『平和』～ロシアによるウクライナ侵攻から考える～」
講演者：東野　篤子　様
（筑波大学人文社会系教授）

筑波大学は今

令和6年度筑波大学入学式・大学院入学式を挙行

4月5日、本学大学会館講堂で、令和6年度筑波大学入学式・大学院入学式を挙行し、学群生2、217人、理療科教員養成施設入学生7人、大学院生2、511人が本学で新たな一歩を踏み出しました。

近年は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、出席者は入学生のみとしておりましたが、今年度は入学生のご家族にもご出席いただきました。

永田恭介学長の式辞、役職者紹介の後、式典の最後には本学混声合唱団・管弦楽団が歓迎の奏楽として学生歌『常陸野の』を披露し、新入生の前途を祝しました。

第48回筑波大学春季スポーツ・デー開催

5月18日、19日、筑波キャンパスにおいて第48回春季スポーツ・デーが開催されました。筑波大学のスポーツ・デーは、開学して間もない昭和52年に第1回目を開催して以来、春季と秋季の年2回、各2日間の日程で開催し、本学の学生・教職員が共にスポーツを楽しむことのできる、筑波大学ならではの伝統ある行事です。

運営においては、スポーツ・デー学生委員会として多くの学生達が企画・準備に取り組み、昨年春季と比べて参加者数も増加をしました。

初日は素晴らしい晴天に恵まれ、二日目は曇天模様となったもののスポーツ日和の中、屋外ではキックベース、フットサル、テニス、オリエンテーリング、屋内ではバスケットボール、ソフトバレーボール、ドッジボール、e-sportsの各種目において熱戦が繰り広げられました。また、学生委員会企画としてウィッフルボール、追っかけ玉入れ、気配斬り、バブルサッカー、サバゲー、借り人競争、やさしいしゃてき、フリスビー的当て、キックターゲット、クロスミントンが、サークル企画として各課外活動団体の体験教室・公開練習が行われ、参加者達は仲間と一緒に笑顔でスポーツを楽しんでいました。最後は恒例のバルーンリリースで締めくくられ、今回も、全ての参加者の協力と、スポーツ・デー学生委員のスムーズな運営により、無事、全日程を終了することが出来ました。

筑波スポーツを担う学生たち、一堂に会す

5月15日、筑波大学の大学会館講堂にて体育スポーツ局主催のキックオフイベントが開催されました。筑波大学スポーツの昨年の成果を振り返り、今後のビジョンを共有する場として開催、ほぼ満員となった会場で学生アスリートたちの熱気が立ち込めました。

イベントは高木英樹体育スポーツ局長による、「スポーツを通してDESIGN THE FUTURE, TOGETHER.を実現する」というスピーチで始まり、永田恭介学長からも学生たちを激励しました。山田晋三体育スポーツ局次長からは昨年度の全国優勝チームや各種イベントの実績が紹介され、今後の取り組みとしてファンクラブの開設などが発表されました。新たな室内練習場の整備、合宿所のリニューアルについても発表され、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

イベントの最後には学生アスリートによる宣揚歌の合唱が行われました。学生たちが肩を組み、会場全体が一体となって力強く歌い上げました。筑波大学の体育スポーツが次の50年に向けて、学生たちと共に新たな一歩を踏み出しました。

茗溪学園だより

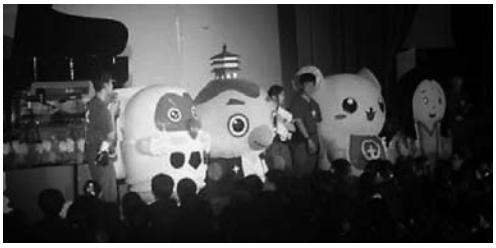
桐創祭に5、700名の来場者

第45回「桐創祭」が6月7・8日に開催されました。コロナ禍による入場制限が解除され、外部の一般の方の来場が数多く見られました。その数は、過去に例のない5、700名に上りました。

毎年テーマが設定され、今年は「童話」というテーマに沿った様々な活動が創り出されていました。雨の多い時期のため毎年天候を心配しながらの開催ですが、両日とも天候に恵まれ、生徒たちは、4月以降2か月かけて準備をしてきた成果を存分に発揮していました。

学年、学級ごとに催される劇やダンス、アトラクションだけでなく、部活の発表もコロナ前の雰囲気に戻ってきました。さらに今年はフックン船長など近隣4市のイメージキャラクターも登場し、キッチンカーや生徒の屋台なども盛況でした。新しくできた人工芝広場「スコーラガーデン」でも、楽しく過ごす様子が見られました。

生徒の活動を応援してくださいました皆様ありがとうございました。



正規留学生が60名超

本校で高校3年間を学び国内外の大学に進学をする留学生（「正規留学生」と呼んでいる）が、9月には60名（5月末現在52名）を超えることになりました。この数は、本校高校生数の7％に当たります。タイ、ベトナム、中国、韓国、台湾、香港、そして今年は初めてミャンマーも加わり、アジア各国から幅広く入学してきています。

本校では、グローバル教育推進計画として2030年までに高校生の10％（約80名）の留学生を入学させるという目標を設定していましたが、あと2年ぐらいで達成できそうです。

この留学生受け入れは、日本及び世界で活躍できる優秀な留学生の獲得が最大の目的です。世界各国から入学した優秀な生徒と本校の生徒が共に学び協働し、大学卒業後の未来においても協働や協業に繋がることを期待するものです。未来に活躍する卒業生の姿をイメージしながら校内のグローバル化、ダイバシティー化を推進しています。

短期留学生：チュラロンコン王立付属高校（タイ）の生徒達（8名、5月、2週間、本校学寮に滞在）

正規留学の他にも短期留学生がいます。今年度は7月までに約百名、年間では二百名を超える予定です。本校では常時海外からの訪問者が多数いて、国際交流が全校規模で日常的に展開されています。

アジアジュニア選手権出場・銀メダル

5月11～20日までウズベキスタンで開催された体操競技アジアジュニア選手権（団体）に本校高校2年生（男子）が日本代表として出場しました。

海外での試合は初めてでしたが、ミスの許されない緊張感の中で、日本チームの一番手としてノーミスの演技を行い、一番手の重責を見事果たしました。結果は銀メダルでした（優勝を目指していたが、中国に敗れる）。本校選手は、普段の練習は放課後の短い時間だけですが、集中力で力を伸ばしてきました。貴重な体験を生かし、更なる成長につなげていって欲しいと思います。

卒業生の活躍

本校の卒業生の活躍を紹介します。

宝塚歌劇団からデビュー

この3月に宝塚音楽学校を首席で卒業した雅耀さんが、月組の卒業公演で主役としてデビューしました。

雅耀さんは本校中学を卒業し、宝塚音楽学校へと進学、そして、卒業公演での主役デビューとなりました。これからの活躍が期待されます。

カンヌ映画祭に監督として登壇

カンヌ映画祭の「監督週間」にて本校卒業生の久野遥子さんが「化け猫あんずちゃん」の監督として登壇し、大きな評価を得ました。

NHKEテレ出演

卒業生の横山明日希さんがNHKEテレの「3ヶ月でマスターする数学」に講師として、秋山仁先生、ヨビノリたくみ先生と共に講師として出演しました。

部活動報告（試合結果など）

【高校運動部】関東大会結果／ラグビー部：Bグループ準優勝／**バドミントン部**：男団体ベスト4（3位）34年ぶりの快挙・女団体ベスト16／**剣道部**：男団体予選リーグ・女個2回戦／**テニス部**：男団体2回戦・男単1回戦・女複2回戦

インターハイ県予選／バドミントン部：男団体優勝（5連覇7回目）・男単優勝と準優勝・男複準優勝・女複優勝以上インターハイ出場（佐賀県開催）・女団体準優勝（3連覇ならず）／**体操部**：男個人総合優勝・女個人総合優勝と3位以上インターハイ出場（福岡県開催）、男女とも団体は準優勝／**テニス部**：男団体準優勝・女団体5位・男単準優勝／**ラグビー部**：第11回全国7人制大会県予選優勝・全国大会出場11年連続11回目（7月長野県菅平高原）

【中学運動部】ラグビー部：第75回関東大会3年連続18回目優勝・第15回全国中学大会出場3年連続12回目出場（9月14-16日水戸市）／**テニス部**：県大会男複優勝関東大会出場

【科学研究】日本地球惑星科学連合2024奨励賞・SSH研究テーマ「アマチュア無線を用いたスポラディックE層の観測」（SSH全国大会でも発表予定）

追　悼　録（敬称略）

逝去会員氏名・卒年科・地域・
逝去年月日・続き柄・遺族氏名

尾崎　武	20文五	R6. 3.29	長女	大越なほみ
小林美代子	22大東史	R5. 5.13	長女	登坂美江子
西　英雄	23農教	R5.11.19	長男	西　正仁
棚田　直彦	25大東史	R6. 6.14	長男	棚田　勝
五十嵐大典	25文二	R5. 5. 1	長女	大澤　典子
重田　実	26理三	R5. 6.10	長男	重田　治
日髙　宏	26理三	R6. 3.28	長男	日髙　俊之
村石　昭三	27大心	R5. 1.25	長男	村石　昭人
飯泉　正男	27理四	R6. 3.27	長男	飯泉　知男
髙山　次嘉	28教大教	R6. 3.19	妻	髙山　聖子
鈴木　久	29教大西史	R5.11.23	長女	塚原　泉
梅川　正誠	29教大物	R6. 2.19	妻	梅川　照子
松本　益男	29教大地鉱	R6. 4. 2	姪	斎藤　眞子
伊藤　博夫	30教大哲	R5. 2.23	妻	伊藤　和子
金井二三男	30教大日史	R6. 5.24	長男	金井　啓明
佐藤　道男	30教大日史	R5. 2. 3	長女	佐藤　靖子
福田　正義	30教大国	R6. 4.17	妻	福田美津子
斎藤　衛	30教大英	R6. 1.20	妻	斎藤登世子
島岡　丘	30教大英	R6. 4. 9	妻	島岡美智恵
坂上　澄夫	30教大地鉱	R6. 3. 7	長男	坂上　泰
古田　普行	31教大教	R5.11.14	長女	井上今日子
杉田　彬	31教大数	R5.12.31	二男	杉田　敏之
山田　栄子	31教大動	R5.12.18	長男	山田　亮太
茨木　淳雄	31教大農化	R5.12.15	妹	茨木　啓
難波　一尚	31教大体	R6. 3.22	妻	難波　雅子
鈴木　輝美	32教大哲	R5.11.22	妻	鈴木　純子
江平　清	32教大物	R6. 2.28	妻	江平　幸子
佐々木俊介	33教大教	R6. 1.11	妻	佐々木道子
酒井　平	33教大心	R6. 4.17	長男	酒井　拓
石嶋　靜一	33教大化	R5. 2. 6	妻	石嶋　恭子
松本　昌介	34教大特教	R6. 3.11	長女	松本なつき
近藤　丈夫	34教大総農	R5.10. 6	妻	近藤美恵子
吉崎　繁	34教大総農	R6. 4.21	妻	吉崎　和子
唐沢　貴	34教大体	R5.12.18	妻	唐沢　澄江
花田　裕	35教大漢	R6. 4.23	妻	花田　朝恵
菊地　隆男	36教大地鉱	R5. 3.17	長女	大木　裕子
府川　宗雄	36教大地鉱	R6. 4. 7	妻	府川　和子
清水　洋二	36教大体	R5. 5.31	妻	清水由美子
山崎　保男	37教大国	R5.11.29	妻	山崎　佳子
玉井　済夫	37教大動	R6. 2.18	妻	玉井　眞美
禰津　忠春	37教大体	R5. 9.17	妻	禰津　達子
稲毛　陽一	38教大国	R5.10. 6	妻	稲毛智恵子
清田　龍也	38教大体	R5.11.20	妻	清田カツミ
森　正博	39教大健	R6. 3. 4	長男	森　崇博
橋本　恭明	40教大倫	R6. 1. 7	妻	橋本　明美
神田　裕子	41教大特教	R5.10. 3	夫	神田　英昭
糟谷　一	42教大漢	R6. 3.27	妻	糟谷　恭子
近藤　賢	42教大体	R5. 5.24	妻	近藤美智子
久松　暉昌	42教大健	R6. 2.27	妻	久松すみ子
今野　和子	46院博植	R6. 3.28	長男	今野　地塩

第19回「科学の芽」賞（筑波大学）

【趣旨】 朝永振一郎博士の功績を称え、それを後続の若い世代に伝えていくとともに、小・中・高校生を対象に自然や科学への関心を高め科学の芽を育てる。

【応募内容】 自然現象の不思議を発見し，観察・実験して考えたことを、レポート10枚以内にまとめましょう。

【募集対象】 小学3年生～高校3年生

【応募期間】 令和6年8月19日～9月17日

【審査結果発表】 令和6年11月下旬

詳しくはこちら ▽

詳細・問い合わせ・応募先
筑波大学東京キャンパス事務部学校支援課

創基151年筑波大学開学50周年記念事業

筑波大学50年史編纂委員会 編

『創基百五十一年筑波大学五十年史』

史料編（下巻）

2023年３月刊行　Ｂ５判上製本、1494頁

筑波大学の創設準備から今日に至る基本史料を14章にわけて網羅的・悉皆的に収集して翻刻し、時間軸に沿って配列した資料集

図 説 編

2023年10月刊行　Ａ４判上製本、200頁

明治５年の師範学校設置に始まる本学前身校の歴史と筑波大学の50年の歩みを、約1,000枚の写真と図版で振り返るビジュアル版

２巻ともCD-ROM付、頒布価格 **各10,000円（税込）**

※国内郵送料含む

各巻目次等の詳細情報はこちらから
【QRコード】

今後、「史料編（上巻）」を2025年３月に刊行します。その後「通史編」を刊行し、全４巻となる予定です。

◎発行部数の一部を実費で有償頒布いたします。

申込方法 下記申込先のメールアドレスに、①**希望タイトル**（「史料編（下巻）」又は「図説編」）、②**お名前**、③**ご住所**、④**電話番号**、⑤**希望冊数**、⑥**支払方法**（原則はクレジットカード決済。カード払いが難しい場合のみ銀行振込）を記載の上、**「50年史希望」**とタイトルを付けてアーカイブズまでお申し込みください。申込は郵送でも受け付けます。

支払方法 返信にて支払手段（クレジットカード決済URL、銀行振込なら請求書）をお知らせします。

発　　送 入金が確認され次第、ご住所に**ゆうパック**でお届けします。

※請求書発行に日数を要しますので、できるだけクレジットカード決済でお申し込みください。

発　行：筑波大学（50年史編纂室）　　つくば市天王台１－１－１

申込先：筑波大学アーカイブズ　　〒305-8577　つくば市天王台１－１－１
TEL：029-853-4127　E-mail : univ-archives@un.tsukuba.ac.jp

桐の葉のつどい　同期入学、または同好のみなさんの集まりを紹介したものです。

◆第21回　桐の葉のつどい in 神保町
とき　令和６年５月21日（火）
ところ　神田神保町のカフェ

４年半ぶりに「桐の葉のつどい」を開きました（参加者43名）。21世紀を目前に控えた2000年12月、60年代の後半を男子寮・桐花寮で過ごした仲間たちとビヤホールに集まったのが、「つどい」の始まりでした。それから約20年間、年末には本の街・神保町での「望年会」が続きました。当初、会場はレストランでしたが、参加者が20名を超えた頃、中規模の講演会にも使われていた近くの談話室（カフェ）の方々にお声がけを頂きました。以来、「故大城宜幸さん（65年国文入学）の人と作品を語る会」や、編集者を招いての読書会「『世界』を読む会 in 神保町」などを通して、交流の輪が広がってきました。今回は、コロナ禍が明けて初めての「つどい」となりました。これまで「つどい」の準備をしてきた私たちは、次からは「70年以降入学」の方々に事務局をお願いすべく、中橋真紀人さん（70年経済入学）、中村弘行さん（70年教育入学）や野口邦和さん（71年化学入学）らに「70年以降入学者の思いと足跡」を熱く語って頂きました。これでやっと、「筑波移転問題」に関わった全世代が登場し、当時のことについていろんな角度から意見を交わせる条件が整ったように思います。10名足らずだった集まりが、…30名、40名と広がってきました。「まるで草の根、教育大生の雑草魂ですね！」…今回参加できなかった友からの便りです。

（佐藤潤一郎（70年木工卒））

令和６年春の叙勲　おめでとうございます（敬称略）

旭日中綬章
山本　眞輔　37教大彫　（愛　知）

瑞宝中綬章
大日向重利　40教大教　（大　阪）

瑞宝小綬章
安井　孝介　43教大農工　（北海道）
佐久間嘉宏　50教大武　（千　葉）
中村　公雄　51教大東史　（長　野）
我妻光一郎　52教大物　（埼　玉）

瑞宝双光章
藤倉　新一　49教大数　（群　馬）
檜垣　秀孝　51教大体　（愛　媛）
鈴木　基史　51教大武　（大　分）
小和田和義　52教大応数　（福　井）

※本欄は、各地域からの調査報告により掲載しております。もし記載もれがある場合は、事務局までお知らせください。

表紙写真について

（広報委員　**鈴木一弘**）

筑波大学の北東約50kmにあるひたち海浜公園（ひたちなか市）のみはらしの丘では、４月中旬から５月上旬にかけてネモフィラの花で一面が青く染まり、空と海の青と溶け合う風景が出現します。

近年、日本の春を代表する絶景としてSNSなどを通じて世界に発信され、多くの外国人観光客が訪れるようになりました。

編集後記

本号のグラビアは、春号に掲載できなかったR５年度**茗渓会賞芸術部門優秀者**４名の作品及び受賞者のコメントを２頁に亘って掲載しました。また、５月23日に開催された**定時総会の議事要旨**を、広報委員長になられた小泉いづみ理事に書いていただきました（P８）。

筑波大学開学50周年を迎えて、筑波大学一期生から、この秋の**「筑波大学一期会」**開催の投稿をいただきました（P10）。また、先の１１２０・春号で12回を数えた**「知の提供・誌上講座」**について名誉教授の会会長の大嶋建一先生に書いていただきました（P16）。

（事務局）

お願い
・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡ください。
・年会費のお振込みは、早めにお願いいたします。

令和６年７月15日発行
発行　一般社団法人　茗　渓　会
茗渓会事務局・大塚事務所
112-0012 東京都文京区大塚一-五-一三
TEL ○三-三九四一-○一三六
FAX ○三-三九四一-七六七四
E-mail info@meikei.or.jp
URL http://www.meikei.or.jp
郵便振替記号番号 ○○一五○-二-四九七七
筑波事務所
305-8577 つくば市天王台一-一-一
筑波大学・大学会館内
TEL ○二九-八五○-一○四四
FAX ○二九-八五○-一○四五
E-mail tsu3jimu@meikei.or.jp
印刷　東京都文京区関口一-三九-一○
山浦印刷株式会社

筑波大学出版会
―筑波大学の知の発信―

もっと知りたい！「科学の芽」の世界 PART 9

「科学の芽」賞実行委員会 編

定価 3,300 円 B5 判並製 202 頁
カラー／紙版・電子版 C0040
ISBN 978-4-904074-82-4（紙版）

東アジア冷戦文化の系譜学
―一九四五年を跨境して

越智 博美・齋藤 一・橋本 恭子・吉原 ゆかり・渡辺 直紀 編

定価 7,810 円 A5 判並製 478 頁
紙版・電子版 C3090
ISBN 978-4-904074-78-7（紙版）

ようこそ、山岳と大気がおりなす世界へ

上野 健一 著

定価 2,970 円 A5 判並製 112 頁
紙版・電子版 C1044
ISBN 978-4-904074-80-0（紙版）

刊行予定

病誌から考える精神科面接
佐藤 晋爾 著
（24年冬頃刊行予定）

販売：丸善出版

株式会社 阿部兄弟建築事務所
平成26年度東京ワークライフバランス認定企業
http://abeoffice.co.jp

〒101-0032
東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル
代表取締役 荒井 豊人（昭和57筑基工）
TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120

株式会社 十和観光
JUWA
代表取締役社長 井坂信洋
URL http://www.juwa.com E-mail:travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市筑波254
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220

スポーツ＆起業家＆企業人「つくばウェイ」
TSUKUBA WAY プロジェクト
～茗渓・筑波OB・OGの活躍を集約!!～
http://tsukubaway.com/
株式会社 KTAJ
代表取締役 藤田 文武（体育専門学部 2004年卒）

印刷・製本までトータルに対応
株式会社 ケーエスアイ
本 社 〒557-0063
大阪市西成区南津守7-15-16
TEL 06-6652-8000 FAX 06-6652-8894

HASEKO **株式会社 長谷工 コーポレーション**
〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号
電話 03(3456)4501
取締役副社長執行役員 楢岡 祥之（昭57筑社工）

学校服のことなら
株式会社 オリムピア
〒124-0024 東京都葛飾区新小岩 1-43-6
TEL:03(3654)2251 FAX:03(3651)2323
https:www.s-olympia.com
取締役 渡邉（草間） 悟（56 農林・62 博農）

集めるのは「知識」と「技術」
さまざまなモノや思想を“寄せ集め”
教育の世界が求めるウォンツを形にする会社
PiCK & MiX
Keeping Up Innovation with Integrating Art & Technology
株式会社ピックアンドミックス 代表取締役 松村直樹
https://www.pickandmix.co.jp/

FXC
Future X Communications
FXC株式会社 https://www.fxc.jp/
当社は光通信機器やイーサネットスイッチ等のネットワーク機器を開発・製造し、各地の公立高校始め、官公庁、企業等に多数納入実績がございます。
創業者：代表取締役社長執行役員 谷輪 重之（'93筑修経営）

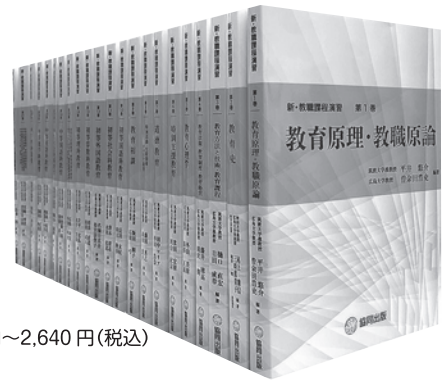
筑波大学教員，広島大学教員初のコラボレーション！

新・教職課程演習
全 22 巻

筑波大学人間系教授 清水美憲
広島大学大学院教授 小山正孝 監修

明治時代から我が国の教員養成をリードしてきた筑波大学教育学学位（大学院）プログラムと，広島大学大学院人間社会科学研究科（旧大学院教育学研究科）の専任教員が編者として初めて協力する画期的な演習シリーズ。我が国の教員養成の質向上を一段と図ります。

A5 判・並製
定価：1,650 円～2,640 円（税込）



「新・教職課程演習」全 22 巻

協同出版 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 2-5
TEL.03-3295-1341 FAX.03-3233-0970 HP.https://kyodo-s.jp

日本一の業務用酒販会社で一緒に楽しく働きませんか？

※業務用…居酒屋、ＢＡＲ、レストランなど料飲店のお客様

カクヤスは、酒類・食品等の料飲店及び一般家庭向け販売、
「なんでも酒やカクヤス」を主力とする店舗運営を行っております。
全国各地から多数入社しており、若手からベテランまで活気のある会社です！

- 圧倒的な配達拠点数
- 年中無休 365日配達
- 365日24時間受注体制
- 急なご注文も即日配達

社員の家族も招待して乾杯する【全社懇親会】や割安で商品を購入できる【社内販売割引制度】、年齢や部署を超えて交流できる【部活動・サークル活動】など、魅力的な制度をたくさんご用意しております。

国内業務用酒販 売上NO.1！

（2016年調査会社調べ）

顧客満足度NO.1！

（首都圏飲食店2017年5月調査会社調べ）

株式会社カクヤス

＜会社概要＞

本社	：	東京都北区豊島2-3-1
代表者	：	代表取締役社長　佐藤 順一
設立	：	2020年10月1日
資本金	：	1,000万円
事業内容	：	酒類・食品等の飲食店向けおよび家庭向け販売 「なんでも酒やカクヤス」、その他の店舗運営
連絡先	：	03-5902-3619（採用担当）

HPにも遊びに来てくださいね！

安 KAKUYASU なんでも酒や カクヤス

「本気」で結婚を目指す

筑波大学同窓会員様の「成婚」をサポートいたします。

To achieve your happy marriage.

筑波大コース

通常登録料
~~33,000円(税込)~~ ▶▶ **0円**

受付時に
「『茗渓』を見た」と
お申し付けください。

46年の実績で成婚までサポート

株式会社ブライダルは創業以来46年にわたり、大学同窓会員の皆様をはじめ、たくさんの方々を成婚に導いてきました。少子化が叫ばれる昨今、当相談所は「幸せな結婚を実現する」という面で社会貢献を目指しています。
特に筑波大学の皆さま向けの「筑波大コース」は大変人気で、多くの同窓会員様にご利用いただいております。この「『茗渓』を見た」とお問い合わせ時にお申し付けいただいた方は、通常33,000円の登録料を【無料】にてご入会いただけます。本気で結婚を考えているお相手との出会いを求める方は、ぜひお問い合わせください。

定期的に「親御様無料説明会」を開催中です。

46年に渡るノウハウで
お子様との会話の秘訣を
お伝えしています。
HP・フリーコールより
お気軽にご相談ください。

1978年創業
あなたと未来をつくる Bridal

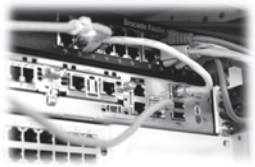
フリーコール 0120-415-412
営業時間：平日 10:00～20:00 / 土・日・祝 10:00～18:00
定休日：月曜日(祝日は除く)・年末年始

ブライダル 結婚相談 検索
https://www.bridal-vip.co.jp/

東京本社：〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目4-2 野村不動産西新宿ビル9F　名古屋本社：〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F

FYF
For Your Future Fortune Facility

「安心」「安全」「快適」な
ＩＴインフラ環境を最先端の技術で実現



FAAM
ESMO
No Man
Do RAY

・社内ネットワーク
・院内ネットワーク
・無線 LAN，Wi-Fi
・テレワーク，Web 会議
・セキュリティー

豊富な実績、高い技術力で、皆様に最適な
ＩＴソリューションをご提供いたします。

株式会社ＦＹＦ
～ＩＴソリューションでより良い未来を～
会社 HP　https://www.fyf-h.com
x（旧 Twitter）　@FYF_INC

本社　〒277-0843　千葉県柏市明原 1-1-6
TEL　04-7192-8927　FAX　04-7192-8929
関西支店　〒530-0026　大阪府大阪市北区神山町 1-5　扇町公園ビル 6F
TEL　06-4306-4019　FAX　06-4306-4023
九州支店　〒812-0029　福岡県福岡市古門戸町 2-4　KS コモンドビル 5F
TEL　092-406-4443　FAX　092-406-4453
東北支店　〒980-0803　宮城県仙台市青葉区国分町 1-6-18　東北王子不動産ビル 5F
TEL　022-226-7290　FAX　022-226-7291
北海道支店　〒060-0062　北海道札幌市中央区南二条西 1 丁目 1-2
21 きのしたビル 9F
TEL　011-206-7482　FAX　011-206-7483

【会社 HP】

広告を募集しています。

事務局までご相談ください。

一般社団法人　茗 渓 会
〒112－0012
東京都文京区大塚１丁目５番23号
電　話　03(3941)0136
ＦＡＸ　03(3941)7674
eメール　info@meikei. or. jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http:www. meikei. or. jp

自分らしく成功できる社会に向けて，いま育てたい力

ウェルビーイングをデザインする
小中学生の非認知能力

櫻井茂男［著］（筑波大学名誉教授）四六判176頁 定価2,200円(本体2,000円＋税10%)

近い未来すら見通しづらい時代，子どもたちに「自分らしく学び続ける力」を育てることが，かれらが生涯にわたって「よりよい人生」をデザインしていく原動力となります。

本書の特徴
(1) 認知能力と非認知能力が両輪となり，学力（資質・能力）の向上を推進する
(2) 自ら学ぶ意欲のプロセスモデルをとおして育て，子ども時代のウェルビーイングも向上できる
(3) 自分らしく成功できる社会に向け育てたい力を精選し，いま学校や大人たちにできることを提案

おもな目次
第１章　非認知能力とは何か
第２章　認知能力と非認知能力
第３章　学力，ウェルビーイング，非認知能力
第４章　自己に関する非認知能力
第５章　他者や社会とかかわる非認知能力
第６章　小中学生の非認知能力を育てる

〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15
http://www.toshobunka.co.jp/
図書文化
TEL. 03-3943-2511　FAX. 03-3943-2519

Meikei–
Making
the
Difference

Meikei High School

茗溪学園中学校高等学校

＊茗溪学園は 1979 年に茗渓会の百周年記念事業で生まれた学校です

◆寮のある学校です
　海外からの外国人留学生も生活しています
◆国際バカロレア IBDP 課程認定校です
◆「知識」「体験」「考え方」
　――とことん学び身につけます
◆部活動が盛んな文武両道の学校です
◆多くの海外姉妹校があり、交流が盛んな学校です
◆文部科学省 SSH（３期目）認定校です

校内見学会 in Summer 2024
7月22日（月）～26日（金）
学園説明会2024
8月3日（土）
（詳細はホームページでご確認ください。）

教員を募集しています。
情報は以下のQRコードから
ご確認ください。

アクセス　つくばエクスプレスTX　つくば駅A3A4出口　バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分　　または　JRひたち野うしく駅　東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail　kouhou@meikei.ac.jp（見学等）　entry@meikei.ac.jp（入試等）